

Kavieng

蛸壺屋

Rabari

元帥の決断

18禁

oise

lla

ra

nda

ndov

あ号作戦への道

艦娘太平洋戦記 第6弾

蛸壺屋

テートウの決断

あ号作戦への道



長門 武蔵 大和



瑞鶴 翔鶴 千歳 大鳳 隼鷹



鳥海 愛宕 高雄 妙高 利根 青葉



長良 五十鈴 能代 阿賀野 鹿島 夕張



時雨 雪風



伊8 Uボート



戦艦 空母 空母(エセックス級) 重巡 軽巡 駆逐艦 潜水艦



1943年(昭和18年) 12月

43年12月

二航戦の空母2隻が
シンガポールから
トラック島へ向かっていた

軽空母『飛鷹』 搭載48機

無念だわ

二航戦は決戦に
役立てなかつたなんて

まあ
我軍が勝った
ようですし
また出番も
あると思います

軽空母『龍鳳』 搭載31機



二航戦航空隊は3月の『I号作戦』終了後
前線に留まり基地航空隊として戦ったが
消耗し尽してそのまま二六航戦と名前を
変えて前線部隊に取り込まれた

代わりに内地で二航戦
航空隊を新編成した後
シンガポールで訓練中
に今回トラック進出を
命じられた

2航戦(消滅)
↓
26航戦

トラック

一航艦
猛将角田長官



内地の
燃料や飛行場は
『第一航空艦隊』の
練成に使うから
母艦航空隊は
シンガポールで
訓練しろ

シンガポール
10/19
12/8

二航戦の残り一隻『隼鷹』は
11月6日に呉沖で潜水艦に雷撃され
飛鷹と入れ変わるように
ドックで修理中だった

飛鷹とは
タイミンクが
合わないな



そして今また『II号作戦』で消耗した
一航戦も同じ扱いとなった

11月の航空戦で
生き残った者は
『瑞鶴航空隊』として
一つに纏められて
前線に留まり

1航戦(消滅)
↓
瑞鶴航空隊

トラック

一航戦航空隊は
内地で新たに
編成された

12月
(新)1航戦

新編成するたび
ベテラン搭乗員が
激減していくわ

シンガポール
2/13

シンガポールは油田のそばで
イギリス軍の飛行場も整備されており
すぐ近くには潜水艦が侵入できない
広大な浅瀬の『リンガ泊地』もあり
訓練には理想的な環境だった

おー
こりゃいいや
訓練も捗りそう



12月15日

マッカーサー率いる連合軍は飛び石作戦で遂にラバウルのあるニューブリテン島に上陸した

1月2日には海峡の対岸サイドルにも上陸してラバウルとニューギニアの日本軍を分断した
しかしマッカーサーと米統合参謀本部はすでにラバウルの日本軍大部隊とは戦わず素通りする方針を固めていた



マッカーサーは自分の配下の末端の者に犠牲が出るのを嫌った
それはヒューマンイズムより兵と共にあるという英雄としての美学からだった
そのため名誉や利害が直接絡んだフィリピン地上戦は反対を押し切って実行した

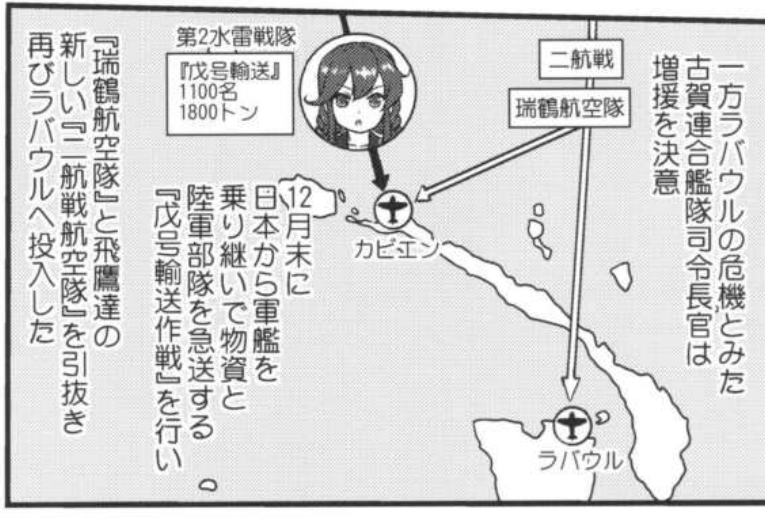


將軍に聞こえるぞ

マッカーサーがこんな所にいるわけ無いだろ

後ろにいる

一方ラバウルの危機とみた古賀連合艦隊司令長官は増援を決意



12月末に日本から重艦を乗り継いで物資と陸軍部隊を急送する『戌号輸送作戦』を行い

『瑞鶴航空隊』と飛鷹達の新しい『二航戦航空隊』を引抜き再びラバウルへ投入した

連合軍は攻略しないと決めたラバウルの無力化のため空母機動部隊も派遣し徹底的な航空攻撃を始めた



もう後がないラバウルも170機の総力を上げて反撃しここに2月中旬まで2ヶ月に渡る最後のラバウル航空戦が始まった

このラバウルの戦いはニュース映画が作られ日本国内で大きく報道されて数々の『ラバウル航空隊神話』が作り上げられた

ニュース映画『69対0』(撮影日の戦闘 撃墜69、損失0) 撃墜王岩本202機撃墜 3号爆弾一発で爆撃機24機を撃墜した
あまりの強さに米軍は千機いると判断した
そのためマッカーサーはラバウル攻略を断念した
ラバウル航空隊未だ健在なり

しかし実態はジリ貧の迎撃が精一杯で地上戦の支援はできず攻撃は夜間に数機が出撃するのみだった

3号爆弾は爆撃機対策に配備されたクラスター爆弾



後方に上陸されたニューギニアの前線部隊はマダンへ後退を始めた
すでに半数近くが戦死し飢えと疫病で戦う力もないため途中のガリから山道へ入り敵を迂回したが撤退中に3500名が力尽き脱落する二度目の悲劇となった(ガリ転進)

ニューブリテン島西部も1月20日最後の玉砕攻撃を行う寸前に第8方面軍今村將軍が後退を命じた
しかしジャングルの中をラバウルまで600km歩くのは困難を極めこちらも700名が犠牲となる悲惨な撤退となった



18軍司令部があるマダンから西へ300kmの航空基地&補給基地

ウエワク

ウエフクには
海軍『第9艦隊』と陸軍『第4航空軍』など
基地要員3万5千人がいたが
ここもマラリアや赤痢など
伝染病が蔓延していた

ヤ
ハ
ハ

暑い…

日本は真冬だから
赤道直下を甘く
考えてました

屋内派の不知火には
耐えがたい気候です
こんな所で日本人が
戦争してるなんて…

オイ！
スコール
来そうだぞ

バケツ出せ

がば

きん

えああ

熱帯雨林のシヤンクルでは
木々は日光を求めて高く伸び
地表は光が届かず
植物は実をつけない

一年中暗くスコールによつて
乾くことがない大地と川には
あらゆる菌類が繁殖している

動物の9割は樹上で生活し
地表は虫とそれを捕食する
両生類や爬虫類しか
生きられない

虫や植物は
身を守るために毒を持ち
人間にとって『悪疫瘴癘の空
『緑の砂漠』である

滝の頃かな
スコール

あー

アアア





はあ
知ってる人には
見せられない
姿だけど…
生き返る



きゅあああああ



小隊長殿
裸の女が走ってきます
自分もとうとうマラリアに
やられたようです

さつき上陸した艦娘だな
おおかた水場に行つて
ヒルにでも襲われたんだらう



熱ッ

我慢してください
これが一番早いんです



……..
動かないで



そうだ
近々350km先の
首府ホーランジアまで後退して
絶対国防圏で敵に備える
海軍の輸送護衛もそこになる

え！
陸軍は西へ
後退するのですか



はい……いえ
すみません
大丈夫です
早く取ってください

ははは おい貴様
運が良かったな！
若いのが皆マラリアで
ぶっ倒れてなきや
今頃マワされてたぞ！



参謀本部は
中国作戦に熱中していて
ニューギニアには
もう関心を持ってない

飛行機はない
搭乗員はマラリア
今のわずかな航空支援を
続けてもどうにもならん
自力で戻ってくるしかない



そ……それでは
ここから東の部隊は
どうなるのですか？

中隊や大隊では
ありません
一個軍がまだ丸ごと
東に残っているんですよ！

海軍さん
お帰りですか：
内地のみんなは
元気でしようか？

あ：ハイ！

前線で戦ってる
兵隊さんを支えようと
皆さん元気で
頑張ってますよ

……：
むしろ貴方
顔色悪いようですが
大丈夫ですか

ええまあ：
一日5回の下痢が
止まらないんですが
ここじゃ病人には
入りません：

それでも隔離病棟に
送られるよりは
マシですがね：

どのみち
自分達は全員
ここで死ぬことに
なると思うから
国に帰ったら
皆に宜しくと
伝えてください

『生きて帰れぬ
ニューギニア』
じゃない

『死んでも還れぬ
ニューギニア』
ですわ

ゴオオオオオ

ここから
向こう

未開の
ジャングルに

15万人もの
人間を
送ったまま

後方は
引き揚げて
しまう
……

どおおおお

だから……

……

ぐ

だからこの戦争は
負けると言ったんだッ



この後空襲が激しくなる中
不知火は2月末まで
ウエフクとホーランジアへの
輸送護衛を続けた

そして次の3月18日便を最後に
ウエフク輸送は打ち切られた



1月16日

雪風達のヒ31船団は
門司からシンガポール
へ向かって南シナ海を
進んでいた



アメリカの
魚雷の威力が
上がってる？

はい
みんな言ってる
よね天津風

そうね
もう我軍の93式と
あんまり変わらないん
じゃないかって

連合軍の魚雷は改善を続けTNT火薬の
1.5倍の威力を持つ爆薬トールベックス
を開発して小型で日本の大型魚雷に匹敵
する威力を手に入れていた

海上護衛総司令部は43年12月に
ヒ船団護衛のため

連合艦隊が飛行機輸送に
使っていた護衛空母5隻
全てを譲り受けたが

ようやく空母を
回してくれた
どう配置するか

長官一隻も
使えんようです

『冲鷹』は譲渡前に沈没
『大鷹』『雲鷹』『神鷹』は
被雷や故障で修理中
『海鷹』は連合艦隊の任務中
という状態で使えなかつたため
一時的に『千歳』を海上護衛隊に
編入させていた



ふーん
気を付け
なくちゃね

日本の輸送船は
この時も変わらず
船団の位置を
毎日発信し続けた



哨戒機が
敵潜水艦を
発見したわ！
船団の針路を
変更するわよ



やっぱり
キタ！





※同じ船団の往路を奇数、復路を偶数としていた

5日間シンガポールで積込の後
『J31』は『J32』と名前を変えて
出港した

天津風は
生きてたそうよ

ホントですか！
良かった

2月4日
日本に到着し
輸送を成功させた



1月24日
通信解析を行っていた特務班は
再び警報を発した
『米有力部隊ハワイを出撃
マーシャル方面に来襲の
恐れあり』

アメリカの機動部隊は
撃退したばかりだろう
また誤報じゃないのか

連合艦隊司令部

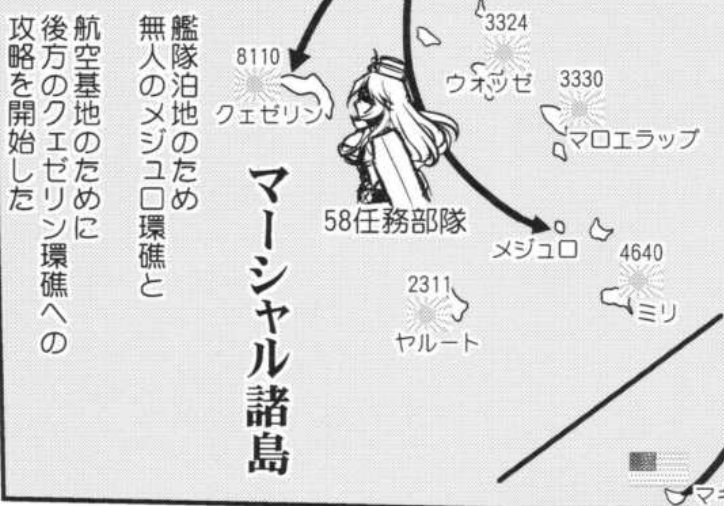
前回出撃して
燃料を空費したため
肝心な時に艦隊が
動けなかったんだ！
それに今は
部隊の再編中である



だが
今度はず
本当だった

米軍は
日本が上陸を予想し
戦力を配備している
島を迂回して

『プリントロック作戦』



マーシャル諸島

艦隊泊地のため
無人のメジユロ環礁と
航空基地のために
後方のクエゼリン環礁への
攻略を開始した

まずマーク・ミッチャー少将が就任し
『第58任務部隊』となった
米機動部隊が空襲を開始した

ジャップはなぜ
ノンビリ
してるんだ？

マーシャルの各飛行場に
分散されていた約100機は
ほとんどが地上で撃破された



タラワの攻略では事前砲撃で
三千発を撃ち込んだが上陸後に
多くの損害が出たためルオッド
ナブル島では陣地破壊用徹甲弾を
加え一万三千発を撃ち込んだ



1mも掘れば海水が湧くサンゴの
島で陣地構築が進んでいない
日本軍はそれだけでほぼ壊滅した

マーシャル守備隊からはトラックへ
悲痛な通信が相次いでいた

航空機は地上で
全部やられた



せめて
パイロットだけでも
後方へ脱出させたい

今こそが
まさに
マーシャル
決戦の時

こういう時に即座に
救援や反撃に移れるのが
空母機動部隊の
はずだったが

空母は
各地にバラバラで
航空隊とも
切り離されている…



連合艦隊は
何も動けなかった

一航戦と二航戦を
地上部隊として
使ったのは誤りだった
かもしれない



こうして海軍が
長年計画を練ってきた
マーシャルでの邀撃
決戦は幻と終わった

制空権と制海権を得た後
上陸部隊が環礁内の
2島に侵攻したが



日本軍の司令官は
すでに初日に戦死して
クエゼリン島は3日
ルオット・ナムル島1日で占領した



連合艦隊司令部をパラオに置いた
古賀は航空戦力増強を急ぎ軍司令部へ
『第一航空艦隊』の進出を強く要請した



軍司令部はやむを得ず
整うまで温存する予定
だった決戦兵力を連合
艦隊の指揮下に編入した

陸軍の
航空隊も
活用を

また連合艦隊と軍司令部は陸軍の
飛行機も太平洋の戦いに活用するよう
嶋田海軍大臣に強く迫っていた



だが小型ボートによる
肉薄攻撃の方は陸軍中央と
杉山参謀総長が同意しなかった



同じく海軍でも呉で甲標的の訓練を
受けていた黒木大尉と仁科中尉が
水雷戦の減少で倉庫に余っていた
93式酸素魚雷を見て
ある戦法を思いついてきた

どうせ甲標的も生きては還れない
それなら高速大威力の魚雷を直接
操縦して確実に一人一隻沈める
そうなれば戦局は一変する



44年1月 就役 エセックス級8隻目
『フランクリン(CV-13)』



2月10日 軍需省から過大な航空機
増産計画に下方修正を求められ
再び陸海軍の話し合いが持たれた



陸海大臣と大本営総長が出席した
幕僚会議に臨んで海軍は律儀に
三万二千を二万六千へと
削減してきていた
だが陸軍は

再検討した結果
削減は困難で二万五千機と
なりましたのでアルミニウム
の割当は等分としたい

これには海軍が激怒し
会議は激論を通り越して永野と
杉山両総長のケンカとなった

そんなに言うなら
海軍が望むだけ渡せば
本当に戦争の風向きを
変えられるのですか！

そんなこと
保証できるわけが
ないでしょう！

陸軍なら全ての飛行機を
使えば形勢を逆転できる
というのですか！

ここで佐藤が折衷案を出し
海軍は渋々受け入れた

こうしましょう
数は互いに二万五千機とし
大型機が多い海軍にはさらに
アルミ三千五百トを提供する

2万5千機といつても
この頃の飛行機は消耗品で
全てが戦力になる訳ではなかった

エンジンの寿命は1000時間程だが
南方では高温多湿のうえ潮風とコールドに
野ざらして離陸時は前も見えない程の土埃
という過酷な使用環境だったため
現場で整備しても半分の500時間程で
交換となった

特に性能の限界まで
機体に負荷をかける戦闘機は
100〜200時間程で使えなくなつた
という証言(坂井三郎)もある

事故で失われる
機体も多量
土の滑走路への着陸や
空母への着艦事故
飛行中の行方不明
などは一定の
割合で起こつた

事故や故障に対処するために
部品取りの補用機も必要で
前線に稼働機数を維持するだけで
絶え間ない補充を必要とした
実際に戦闘で失われるのは
日本に限らず生産の半分以下
というのが実情だった

会議に参加した
嶋田海軍大臣と
永野軍令部総長には
海軍内部から
批判が集中した

東條の男妾が
また譲歩しやがった

ダメだ
嶋田大臣では
戦争に勝てない

陸軍機など
何の役にも立って
いないではないか

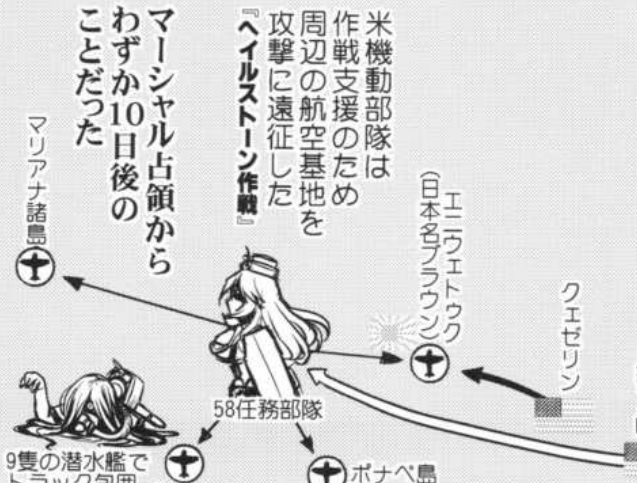
バッシングが応えた
嶋田大臣は東條に辞意を
ほのめかした

少し
待ってくれ
考えてることが
ある

このように
政府と軍部が
バラバラでは戦争など
勝てるわけがない

一方ニミッツはマーシャル攻略が
予想以上に短期間で終了し
損害も少なかったため

4ヶ月後を予定していた
一つ先のエニウェトウク環礁の
攻略を前倒しで発令した
『キャッチボール作戦』



トラックの第4通信隊は米軍の無線を
傍受し全軍に警戒態勢が引かれた

宴会中に部下だけ
警戒態勢という
訳にはいかん

だが古賀長官の留守を
預かっていた第4艦隊小林中将は
その後偵察機からの発見報告が
なかったため警戒を解除した



ちょうど大本営から視察団が

それでは明石さん
お世話になりました

何とか内地までは
辿り着けそうです

あくまで
応急修理だから
気を付けてね

2月16日夜 ラバウル空襲で損傷して
いた『阿賀野』は警戒が解除されたので
修理のため日本へ出発したが

包囲していた米潜『スケート』の
雷撃を受け深夜に沈没した
これが悲劇のスタートとなった

2月17日 早朝
トラック基地のレーダーが
敵機の大編隊を捕えた

て
敵機だ

空襲警報
急げッ

ヤバイぞ

基地の日本軍は前日警戒が明けたため
外出したり深酒したりで不在が多く
何の警戒態勢も取っていないが

うるさい
な…

朝っぱらから
飛行訓練か…

うわあ…

えらい
こっちゃ

米空母部隊はまず航空機を襲い
それから目標を船舶に切り替え
9回もの波状攻撃を行った

日本は辛うじて35機が迎撃に飛び立
ったが200機以上の飛行機が
地上に並べたまま撃破された

前夜阿賀野の救助に出た『那珂』は
結局沈没に間に合わず
ちよつと港へと戻る所だった

ちよつと…
トラックが
空襲されてるし

わッ
こつち来た

な…那珂ちゃん
だけ狙い撃ち？

那珂は4波の60機の空襲を受け
魚雷と爆弾各二発が命中し沈没した

開戦以来水雷戦隊を率いてきた
川内型はこれで全て姿を消した

スプルーアンスは戦艦乗りの血が騒いだのか『ニュージャーシー』『アイオワ』を擁する戦艦部隊を分離して自ら率い



潜水艦と共に港から脱出する艦艇の待ち伏せ攻撃に向かった

元々出港予定だった民間引揚船を空襲から急いで脱出させるために護衛に付いた『香取』『舞風』『野分』の船団が

スプルーアンスの待ち伏せ部隊に捕まった



まず香取がアイオワの主砲弾の直撃を受け、その後の集中砲火で沈没した

舞風は重巡部隊に集中攻撃を受け500人が乗った引揚船『赤城丸』と共に沈没した



海に投げ出された救命艇までもが掃射を受け生存者は殆ど残らなかつた

野分は追撃を振り切り何とか逃げ延びた



エセックス戦艦部隊に邪魔だと言え

「ハンカールヒル(CV17)」



提督が乗ってるんだ言えるわけないだろう

『時雨』と『春雨』は空襲と待ち伏せをかわし脱出に成功



春雨 こっち!

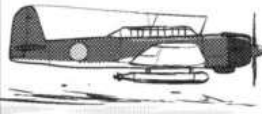
さらには防衛強化のためにトラックに向かっていた陸軍『第52師団』の輸送船団が攻撃を受付全滅



7000名と物資が為す術なく海中に消える惨事となった

日が暮れると日本はわずか197艦攻4機と一式陸攻3機で反撃を行った

リーダーに掛からないように超低空飛行



ところがこの内の1機は米軍のリーダー防空網をくぐり抜け空母『イントレピッド』に魚雷1発を命中させて戦場から離脱させる戦果をあげた



翌2月18日

米軍は攻撃の手を緩めず3波に渡つて空襲を続けた

駆逐艦『文月』『太刀風』『追風』が沈没、湾内に沈没船の残骸が溢れる中、『秋津洲』が脱出に成功した



日本はもはや迎撃に飛び立つ飛行機もなく、軍事施設は徹底的に破壊された

2日間に渡る空襲で日本の損失は
巡洋艦『阿賀野』『那珂』『香取』
駆逐艦『舞風』『太刀風』『追風』『文月』
輸送船5隻 小型艇3隻 商船32隻
航空機270機
他に損傷艦多数

一方米軍の損失は
航空機25機
空母『イントレピッド』大破のみ
という一方的勝利だった



太平洋艦隊司令長官
チェスター・ニミッツ

パールハーバーの
復讐はこれで
果たされた

トラックは湾内の沈没船でもはや
艦隊の基地として使用不能となった
さらに遠距離を航海できる優秀な
商船20万トン(日本の全輸送力の
1割)を一挙に失った
これは今後の戦略に影響するほどの
損失だった

トラック大空襲



米機動部隊は手を緩めず
続いてマリアナ諸島へ
空襲に向かった

マリアナに進出して
第一航空艦隊は通信解析と偵察機で
機動部隊の情報を得ていたが

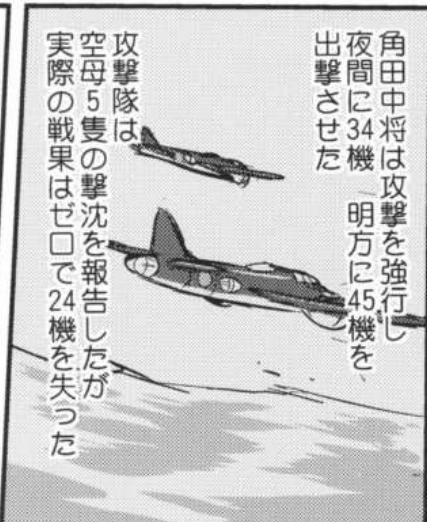
航空戦は見敵必殺
先制攻撃こそが重要だ

一航艦はまだ戦う、
準備が出来ていない
空中退避すべきです

司令長官の猛将角田と真珠湾攻撃の
英雄淵田美津雄参謀の意見が衝突した



敵が攻撃に
来た時に戦わず
何のための
航空隊か!



角田中将は攻撃を強行し
夜間に34機 明方に45機を
出撃させた

攻撃隊は
空母5隻の撃沈を報告したが
実際の戦果はゼロで24機を失った

2月23日
米機動部隊は450機が3波に
分かれてマリアナ諸島二帯を
空襲した



トラックと同じく
4隻の潜水艦が展開し
空襲から脱出する船舶を待ち伏せた

目的の一つだった航空写真も
撮り終えた米軍は午前中だけで
攻撃を切り上げ帰投した

だが日本の損失は甚大で
輸送船・小型艇13隻
航空機123機(地上撃破75機)

米軍の損失は 航空機6機

目を覆うような一方的な
蹂躪となった

角田の指揮下にあったマリアナ方面の
航空隊140機は壊滅し

中でも比較的練度の高い『第一航空艦隊』
先発隊93機は残3機と事実上消滅した

基地航空隊の大部隊で決戦を挑むという
源田実の戦略は出鼻で崩壊の危機を迎えた
さらにトラックの損失に加え4万5千トンの
輸送力も失われた

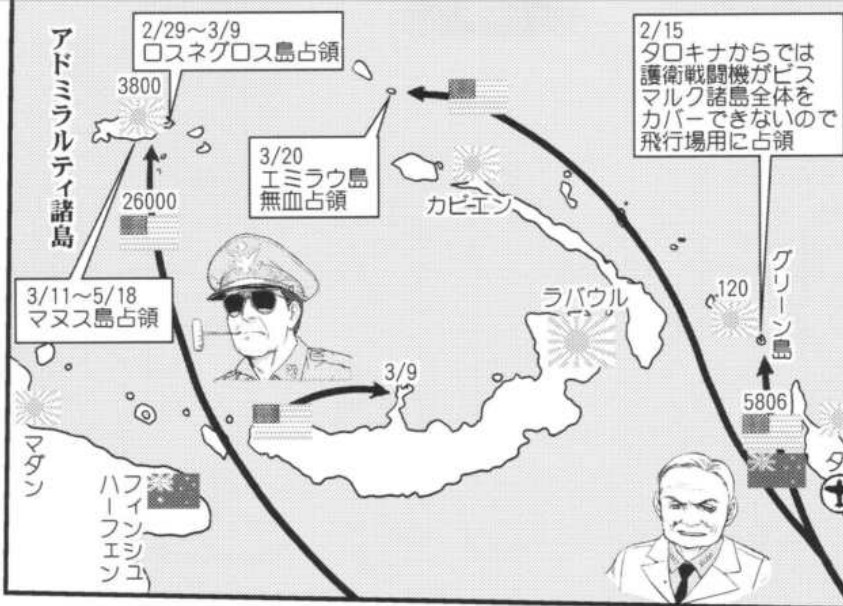
マリアナ諸島空襲

この作戦でニミッツの
中部太平洋軍の侵攻は一旦休止し
次の作戦まで準備期間に入った

日本には3ヶ月間の
戦力を立て直す
最後のチャンスが
与えられた

その頃南方でも

「ハルゼーとマッカーサーの『カートホイール作戦』はラバウル包囲の最終段階に入っていた」



マッカーサーは作戦のツイナルを飾るアドミラルティ諸島口ヌネグロス島を攻略して自ら部隊と共に上陸した

包囲は完成し日本の陸海方面軍が船と飛行機を全て失い地上部隊だけそっくり包囲されて無力化した



以後は定期の空襲が続く中3ヶ月で育つサツマイモを主食とした農耕自給生活を続けることとなった

私の活躍を早く思わない者達がワシントンに居て妨害工作を行っている

例によってマスコミに不満をぶちまけた

私にもっと戦力を与えれば今年中にフィリピンを奪還できるのだ

現場の名将が無理解なお偉方に足を引っ張られているという話は、大衆ウケするため競って報道されます。マッカーサーの本国人気はますます高まっていった



東京 大本営陸軍部

陸軍中央では一個師団と25万トンの輸送船を沈められた海軍に非難が集中していた

装備の整った七千の兵が犬死にした

トラックに固執して撤収を渋った結果がこれだ!

以前から警告していたのになんてザマだ! 沈んだ分をまた徴用してたら国が保たなくなるぞ

東條はこの時を逃さず参謀本部の杉山総長を訪れた

敗戦の原因は『統帥権の独立』にあります。国務と統帥を兼務するので退いてもらえませんか

それは我が国の伝統に反するし政府が作戦に口を出すのもよくない

ドイツはヒットラーが参謀の作戦に介入し過ぎてスターリングラードの破局を招いたのだ

ヒットラーは軍人として兵卒に過ぎませんが私は大将です

軍の指揮も心得ています

文句を言う者がいたら全て更迭します

人事は東條の手の中にある上に周りと衝突を避けることで出世しどちらにも動く『便所罪』とアタ名のある杉山参謀総長は結局申し出を受け入れ辞任した

東條と歩調を合わせた嶋田海軍大臣も

海軍の重鎮伏見宮博恭王の同意を得た後

トラックの失態を『海軍事件』と問題化し

責任を取らせる形で「永野軍令部総長を更迭して自ら大臣と兼任した

于事件の捜査自体はその後処罰者なしで終わった



皇室も推移を危惧して
天皇の弟・秩父宮から東條に
『一人の人物に権限を集中させる
べきではない。政府と軍部の方針
が異なる時はどうするのか』
と問う文書が届いた

今は国力を結集して戦争に
勝利することが何よりも重要で
す
もし私に陛下への忠誠心を欠く
ような振舞いがあれば直ちに
御前で切腹して果てる覚悟です

もともと心の広い方ではない東條が
非情の決意を固めたため
国民への締め付けは一層強まった

2月25日
『決戦非常措置要項』を閣議決定
国民に『**非常事態宣言**』を行い
旅行や享楽を禁止し全国の方フエや
劇場、遊郭などを休業させた

この段階に至っての
政府批判や和平運動は
国賊行為である

国の全力で航空機の生産に取組む
ため中学校以上の学生には一年間の
勤労を義務付け工場へ動員した
「女は家庭」の伝統が根強い
ため女性の徴用は行われなかったが
未婚女性の一部は女子挺身隊として
勤労奉仕や竹槍訓練などに従事した

一方、軍令部総長になった嶋田大臣は
源田と瀬島の『陸海軍合一案』で
×問題(航空兵力の統合)が
陸軍主導で進んでる事を知ると
直ちに止めさせた

合一はしない
研究は全て
中止しろ！

総力戦の覚悟を固めている
東條と嶋田は前総長達が止めていた
決死兵器の研究にも許可を出した

ただし『回天』には
必ず脱出ハッチを
付けるように

この時軍令部の第二部(兵器開発・製造)
部長だった変人参謀・黒島龜人は
さっそくアイデアマンぶりを発揮し
航空機、魚雷、ボート、小型潜水艦など
体当たり兵器を次々と提案した

また
人間魚雷『回天』や人間爆弾『桜花』の
具体的な生産に取り掛かった

2月23日 飛行機の割当て不満を持つ
海軍の空気を讀んだ毎日新聞の番記者が
女性の竹槍訓練や東條の精神主義を
揶揄した批判記事を載せた

竹槍では間に合わぬ
飛行機だ、海洋航空機だ
必勝の信念だけでは戦争は勝たれない

東條は
この手の「茶化し」が
大嫌いだ

作戦を批判してる
統帥権の干犯だ
毎日を
廃刊にしろ！

紙の配給を
止めれば
簡単ですが…

この位のこと
そんなことをしたら
物議をかもし
外国からも笑われます

内閣情報局
村田次長

怒りが収まらない東條は
記者を兵役に召集し
南方へ送ろうとしたが

海軍がいち早く採用して庇護した上
大正時代の40歳近い老兵が一人だけ
召集されるのは不自然で権力乱用の
懲罰召集だと批判した

臨時召集令状

東條はアリバイ作り
同世代の2500人を追加で召集した
右衛門召集ラッシュ 神子 佐野 佐野 佐野
老兵達はほとんどもて硫黄島へ送られ
玉砕戦で全員戦死したニールベシ

到着日時 昭和
竹槍事件

ひいひい



2月19日

雪風達の輸送から4便目『40船団』は米潜『シヤツク』と『クレイバツク』に襲われタンカーが5隻全て沈没

1隻で護衛していた海防艦『ゴウ』と残る客船の『浅間丸』もはぐれて船団は空中分解し航路途中で解散になるという悲劇が起こった



この事態に船団は出港地で数が集まるまで待つて複数の護衛艦を付ける『大船団方式』に変えざるを得なくなつた

海防艦一隻付けても無駄だ
大船団なら護衛空母も付けやすくなる
ただでさえ減っている船の運用効率が落ち輸送量はさらに細ることになった



2月27日 リンガ泊地

第1艦隊を

解隊する？



どうしようか
でしようか

どういふ事も
なにも
出番のない艦隊を
組んでいても意味が
ないという事だ

小沢中将の提案で
連合艦隊は総力を結集したた
機動部隊を作ることになった
戦艦は前衛部隊の
第2艦隊に編入される

3月1日 第1艦隊が解隊されて南雲中将(36期生)が抜けようやく艦隊司令官で先任(一番先輩)となつた小沢中将(37期生)は主力艦艇を全て統一の指揮下に置く『**第一機動艦隊**』の構想を提案し自動的に司令長官に就任した

第1機動艦隊

(小沢中将37期生)



前衛 第2艦隊
(栗田中将38期生)



本隊 第3艦隊
(小沢中将兼任)

それは残る空母全てを集中運用し他の全艦艇で守るといふアメリカの主力機動部隊に真っ向から対抗するための艦隊だった

二ミッツは後に日本海軍の優れた提督として三名を挙げたすでにその内二人は戦死していたが日本は土壇場で最後の一人
小沢治三郎の下に残る全ての戦力を集め命運を託す事となつた

山口多聞
二航戦司令官





明治以来皇國を護つてきた不敗の戦艦部隊が空母の前衛か…



分かってる形は変わろうと決戦は決戦だ

シンガポールで特訓中の一航戦航空隊



やってやるさ陸奥のためにもな

同じく3月1日 インド洋
インド方面では陸軍の『ウ号作戦』を間近に控えて各種の支援作戦が始められていた

これから我が艦隊はインド洋で『サ号作戦』に入る



第16戦隊『青葉』

イギリスの海上輸送ルートを攻撃しあわよくば輸送船は拿捕して船舶不足の足しにする

説明した通り今回は敵の領海で行う隠密作戦なので



第7戦隊『利根』『筑摩』

侵入する時はアメリカの軍艦に偽装する

青葉 任務はいいがこんなやり方は気が進まんのじゃ



文句言わない利根 命令だから仕方ないだろ



ボクだってイヤなんだ



第二次アキャブ作戦 (2/5~) 英印軍を南側に引きつけるための『ウ号作戦』支援作戦

インド洋ではドイツから来たUボート部隊がアラビア海や紅海で再び連合軍の海上航路妨害に成功し57隻34万トンを撃沈した

日本も2隻にまで減っていた潜水艦を11隻へ増強して協力し43年から44年前半にかけて40隻以上28万トンを撃沈し損失1隻のみの戦果を上げていた

42年日本がこれをしてれば…

輸送船はどこだ

このインド洋の作戦には
もう一つ裏の面があった

大西洋のUボート作戦で
結局連合軍の海上輸送ルート
を潰せなかったドイツは
外相リッペンドロップを通じて
大島駐独大使にある要請を行った

米英の船を沈めても
すぐ新しい船に乗換えて
輸送量が落ちない

インド洋で商船を
撃沈した時は船員を
全員殺して欲しい

永野軍令部総長は
要請を受け入れた

反対です

漂流してる者は
敵でも助けるのが
船乗り共通のルール

ナチスの
こつこつ所は好き
じゃありません

命令だというなら
正式に文書で
通達してください

※ドイツはデーニッツ提督が命令を実行しなかった

43年12月
『呂110』が撃沈した船の
救命ボートに機銃掃射を
加え55名を殺害



44年3月

『伊37』が98名の
捕虜を艦上で殺害

『伊26』が救命ボート
銃撃で4名殺害



3月26日

『伊8』はオランダ貨物船
『ティサラック』を撃沈



その後機銃掃射と
艦上での暴行で98名を殺害した



7月にも同様の行為で
殺害を行った

この時の『伊8』有泉艦長は、

後に終戦を知ると日本へ
帰港する前に艦内で自殺した

『サ号作戦』では
青葉達も
乗員の殺害を
命じられていた

全然
見つから
ないな……

手分けして
探そう



3月9日 よつやく利根がイギリス商船「ビバルド号」を発見した

アメリカ軍だ止まるのじゃ

しかしビバルド号は無視して走り続けた

チツ
実は日本軍じゃ止まらないと攻撃するぞ!

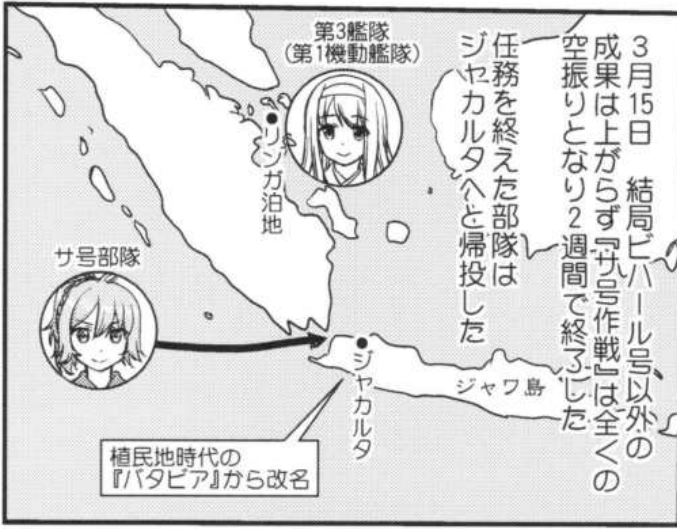
利根は拿捕をあきらめて撃沈した

青葉
捕虜が百人程いるんじやがどうすればいい

命令は聞いてるだろう

所定通り速やかに処分せよ

姉さん…



ジャカルタに戻ると利根は捕虜の一部を上陸させた

インド人は同盟国だし女は兵士じゃないから捕虜ではないのじゃ

早く降りるのじゃ

しかし残る80名はいくつかの収容所へ交渉したもののどこも受け入れを断った

利根は捕虜を海上へ連れて行き一人づつ全員殺害した

※暴動が起きないよう順番に呼出し刀で斬殺した

利根どこに行ってた勝手な行動を取るな!

サ号部隊はこれで解散だけど命令はちゃんと実行したのか?

オイ
利根!

オイ
利根!

アキヤブでは55師団が英軍を包囲したが4日分の食料で速やかな勝利という予定が敵の空中補給で狂い苦戦に陥っていた

シンゼフウィヤ 盆地

アキヤブ

補給のない棚橋連隊長は後退を進言したが花谷師団長は撥ね付けた

戦死しろ！

卓怯者が全員突撃して

この花谷中将は日本軍の悪癖を凝縮したような人物で部下への暴言暴行を日常的に行い落度があればすぐ自決を強要した

腹を切れ 責任取って自決しろ！

士官学校を出てない者を露骨に見下し石原莞爾の下で働いて「満州は俺が作った俺のお陰で財閥は儲かっている」と放言した

直属士官のノイローゼや自殺が相次ぎ上官を殺された下士官が兵器局へ駆け込んだ事もあった

地雷を分けてくれ！

あのキチガイを事故に見せかけて爆殺するアンタに迷惑はかけない

棚橋連隊長は遂に独断で撤退し大本営で花谷の作戦指導の酷さを訴えた

なぜ全滅するまで戦わなかったのだ 自決しろ！

しかし逆に東條と辻に面罵されて終り棚橋は終戦後切腹して自決した

※ものすごい大声を出す辻参謀

アキヤブ作戦で日本は敵を陽動してるつもりだったが

難しいのは陽動に乗ったフリを敵に信じさせることだ

すでに暗号解読とスパイの情報で日本の作戦を掴んでいた英印軍のスリム中将は逆に日本軍を誘い込むことに利用しようと考えた

ビルマ周辺の連合軍は米軍のスティールウエルと英印軍のスリムという2人の優れた将軍が率いていた

スティールウエルの方は控えめに言っても『棘のある性格』でインディアンを引く階級章も付けず前線を飛び回り自ら指揮する実践派だった

日本軍は頭脳のないドイツ軍だ

米式中国軍 スティールウエル中将

英印軍 スリム中将

ベンガル湾 上陸作戦(中止)

スティールウエルにとって戦わず政治的駆け引きで立ち回る蒋介石(チーナツ野郎)や威光やハッタリを武器とする英植民地軍(ライミーども)は軽蔑すべき存在だった

貧しい環境から実力で出世してきたスリムの能力と人柄は認めていて良好な協力関係にあった

イギリスはもとも山脈で分断されたビルマへの再攻勢には消極的だった

ビルマは戦争に勝った後条約で取り戻せばいい

スリムも当初は連合軍のベンガル湾上陸があればビルマ奪回を考えるスティールウエルに付き合っただけから支援する程度の戦闘を考えていた

だが日本のインド侵攻作戦を知り本格的な迎撃体勢を取ることとなった

陸軍はこの『インパール作戦』と『大陸打通作戦』という2つの大作戦を同時期に始めようとしていた

チャーチル英首相

これらは戦略的に連携して計画されたものではなかった

62万 大陸打通作戦

300万 中国軍

9万 インパール作戦

モスクワ

ベルリン

参謀本部では一年前にガタルカナル戦で更迭された服部卓四郎作戦課長が43年12月に再び元の地位に呼び戻されていた

服部は復帰するとすぐに『虎の牙兵棋』という机上演習を主催して今後の陸軍の戦略を取りまとめた

戦争のグラントデザインは、この服部卓四郎作戦課長によって決定されていた

軍需省の話では大増産に入っている航空機や船舶は45年(昭和20年)には供給が安定する

そのため太平洋は今後一年間絶対国防圏でアメリカを食い止める海軍も一年くらいは粘るだろう

その間本土の工場が空襲を受けないよう先に中国方面を片付ける

あくまでサーガのメイン判断はアメリカの侵攻路と判断

インド作戦を大本営が考えた

44年攻勢

45年攻勢

31軍

44年防衛

第2方面軍

45年に十分な航空機と船舶を揃え弱体化してであろう海軍に代わり陸軍主導でフィリピンで決戦を挑むというものだった

一方インパール作戦は南方軍が手持ちの兵と物資で独自にやるという認識で

占領できなかった時の補給が心配である

そんな事は絶対ない
あなたは実戦経験が
少ないからそう言うのだ

牟田口の
精神論に偏った熱弁を聞いても
作戦課は何も口を出さなかった

寺内元帥と
真田作戦部長で
話がついてる事だ
我々は関係ない

軍隊の行動の原則は「全員に一日3千キロ
歩を提供できる範囲でしか動けない」と
言われる

大軍または過疎地になるほど
現地は必要歩を提供できず
生きられる人数の上限は決まっている

インパール作戦は3万人の兵が同数の牛
を率いてそれぞれ25キロの米を背負い
車を通れない断崖の山道を米と牛を
食いながら補給なしで最長450km
を踏破し敵を攻撃する

31師団
15師団
33師団
チンドウイン川
コヒマ
インパール
ジンギスカン
作戦だ
敵地を占領した後は敵の食料で
食いつなぐという物凄いものだった

戦局悪化で低下している
内閣の支持を取り戻したい東條は
作戦をマスコミに積極的に取材させ
天長節(天皇誕生日)に合わせた
勝利のニュースを持った



3月8日
「計画通り進めば成功する」
という見切り発車で
『ウ号作戦』は開始された

太平洋ではマーシャル陥落で最前線と
なったマリアナの強化が始まっていた
海軍は『中部太平洋方面艦隊』
陸軍は『31軍』の司令部をサイパン
島に新設した

中部太平洋方面艦隊
第14航空艦隊
第4艦隊
陸軍31軍
サイパン
テニアン
グアム
中部太平洋
方面艦隊
パラオ
トラック

31軍は海軍の指揮下に入り
陸海の守備隊を統一するという
今迄にない協力体制が敷かれた

横須賀鎮守府

新設された31軍の兵員を
内地から輸送する戦略輸送
『松輸送』が始まった

雪風殿！



自分達はこれから
出港するのでありますが
雪風殿にお願いしたい
事があって参りました！

そうですか
お国のために
務めて下さい
行き先は？

知りませんが夏服を
支給されるそうなので
南だと思っております

サイパンだ
今から最前線へ
遅い輸送船で…

何でしょう？
私にできること
なら良いのですが

あの…
オイ
貴様言えよ！
あの…女の
アソコを見せ
欲しいので
あります！

は



お願いします
アイツらと
違って

自分らには
見せてくれる
恋人や嫁がおらんのです

お国に命を捧げる
覚悟は出来てますが
一度もマンコを見ないまま
死ぬのはイヤです!

お願いします
見せてください

どうしても
死ぬ前に一目

雪風殿なら
お前らの頼みを
聞いてくれるかもと
古兵殿が教えてくれました

ま...まあ
出来ることなら
するって
言っちゃったし

ああ

人目に
付かないとこへ

あの
そこまで真剣に
見なくても

いえ!
目に焼き付けて
いくであります

雪風どの
触っても...
よろしいでしょうか

んー
つつく位なら...

ゆゆ雪風どの!
御守りに一本頂いて
よろしいでしょうか!

想い人でなく
私のでいいん
ですか?

い...一番長いのを

ん

やったーツ
失くさないよう
歩兵操典に挟んどこう

幸運艦に触れた
俺はもう弾には
当たらねー!

次オレだ!

早く代われ



最後に
一目だけ！

逃げ！
また殴られるぞ

ゴッ



集合オー

ハイ

ああ
クソッ



はいッ

割り込みは
禁止だ
ちゃんと並べ！



くそー
見れなかった…

雪風殿本当に
有難うございました
この御恩は忘れません



武風神社

開戦以来
2年と半年
萬の神に守られて

やあやあ
我こそは幸運艦
なり

敵弾の雨を
物ともせずただ
一発の命中弾もなし

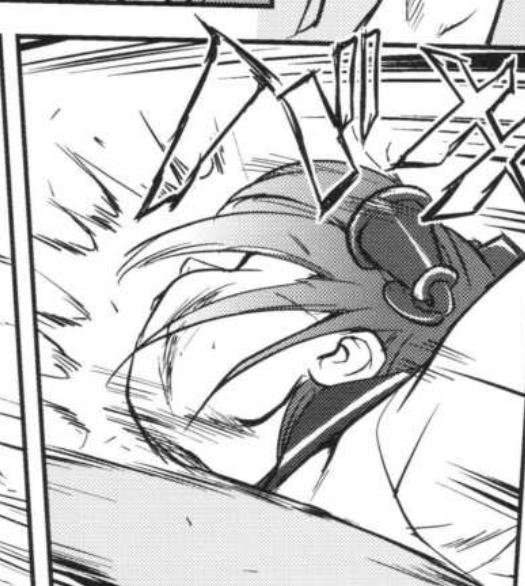


バンザイ
バンザイ

武運長久を



た



けがらわしい淫乱娘！恥を知らないさい私達がどんな思いで夫や息子を戦地に送ってるか！



今すぐ失せろ！
艦娘じゃなかったらこの場で叩つ斬つていた所だ



艦娘なんてすぐ男に色目を使う尻軽の田舎モンばかりだわ

ええい！早く前を仕舞いなさい！



『松輸送』では連合艦隊が31軍のために第11水雷戦隊などの強力な護衛を付け全面的に協力した

東京湾発の『東松輸送』8便
門司発の『西松輸送』2便

合計10便の決死の輸送が3月から5月にかけて行われた

天龍ちゃん何も出来ずゴメンね

3月13日 『東松2次輸送』で『龍田』が米潜『サンドラス』の雷撃で沈没



4月13日 『東松3次輸送』で『雷』が米潜『ハルター』の雷撃を受け沈没
4月27日 同じく『夕張』が米潜『ブルーギル』の雷撃で沈没した

しかしながら輸送自体は幸運に恵まれこの時期としては異例の成功を収めた

輸送船の損失は全期間で3隻に留まり陸軍部隊は全てが目的地に到達した

大本営では『万歳』の声が上がり東條『参謀総長』は海軍に謝辞を述べた

海軍の努力のお陰でサイパンは難攻不落となったので安心して欲しい



広島県 呉



隼鷹ーッ



飛鷹ーッ

どーん！久しぶりー

やっと2人揃ったわね

わずかだけどトラックから生き残りも戻ってきたし二航戦本格再始動よ！



あと一航戦にも待ちに待った強い新型が加わるみたいよ

3月5日就工 正規空母3隻目
装甲空母『大鳳』

搭載新型機61機※諸説あり



つまり飛行機の攻撃じゃ沈まない『不沈空母』ってことだ

五〇〇キの急降下爆撃でも魚雷二〇本でも耐えきる防御力

3月10日 軍令部は止まない米軍の攻撃から先の決戦戦果の見直しを行い空母は大型揚陸艦やタンカーの誤認だろう

おそらく主力空母の撃沈はない

米空母の数は13隻(実際は12隻)この時点でほぼ正確に判断した

3月22日 何とか少しでも反撃を行い、たい軍令部は米艦隊が又ウエワク環礁を泊地としていることを知り

伊藤軍令部次長自らこれを攻撃できないか作戦を検討した

常に強気の源田参謀

一航艦を使えば8~9隻は沈められる

アイチアマン 黒島第二部長

魚雷を積んだ水陸両用車を潜水艦で運び予想外の方向からリーフを越えて奇襲してはどうか

山本の真珠湾攻撃を真似したこの米艦隊泊地への奇襲には、古賀連合艦隊司令長官も賛成し

『雄作戦』として6月の実行に向け準備が進められることとなった

3月25日 ニューギニア 東部では陸軍の全面的な後退が始まっていた

絶対国防圏
第4航空軍
18軍は孤立した
第8方面軍から
ニューギニア西部の
第2方面軍へと編入され
阿南将軍は
全軍のウエワク以西への
転進命令を出した

しかレウエワクまでは唯でさえ人跡未踏のジャングルな上に100kmに及びセビック川流域の大湿地帯が横たわっていた

セビック川
大湿地帯
ウエワク
マダン

師団司令部は大発やカヌーで海岸沿いに向かったが進出してきた米魚雷艇に撃沈され第20師団長は戦死した

残る3万程の兵はウエワクまで歩いて向かうこととなり数あるニューギニアの悲劇の中でも特に悲惨極まる後退となった

そこはおよそ人間が通るような土地ではなかった

一面が巨木と苔と棘のある植物に覆われて平地はなく名前もない川が突如増水し兵を押し流し

渡河中にワニに食われる者もいた

マリアに成らない方がおかしい程のヤブ蚊の大軍や多種多様の巨大な害虫

行軍は極めて遅くどこまで行っても同じ光景が続く

そのうち時間の感覚も無くなって熱と疲労でものを考えるという行為が難しくなり

幽霊の集団のような行列が続いた

米軍は文明社会から切り離された日本軍をもはや探してもしなかつた

執拗な追撃を続けたオーストラリア軍も日本軍が湿地帯に入ると追うのを止めた

セビック川
大湿地帯
マダン

病人が重病人を運び共倒れ続出の状況に「拒送の中止と自決命令」が出された

拒架は放棄され歩けない者は自殺を命じられた

ボロ切れ一枚すら貴重品となり休憩できそうな場所には全て剥ぎ取られ裸になつた死体が何体も転がっていた

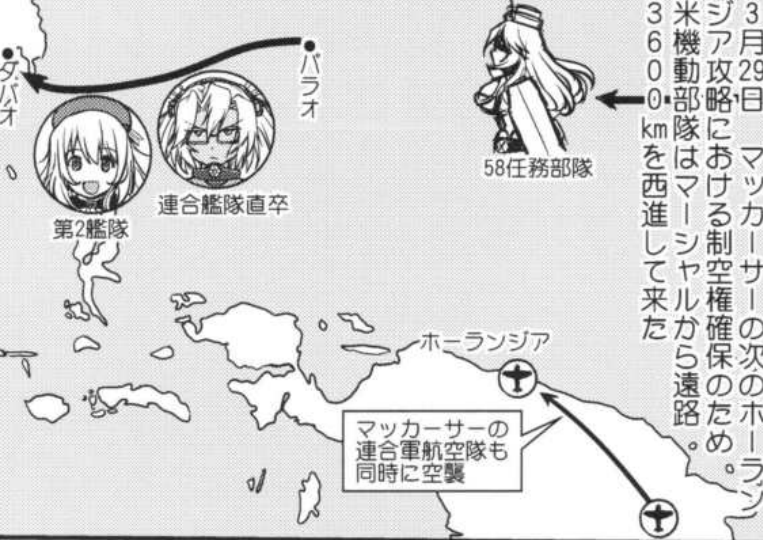
銃は負担でも飢えた味方から身を守るため手放せない道具となっていた

それでもはぐれたら確実に死ぬという状況が組織の崩壊を辛うじて防いでいた

3月29日 マッカーサーの次のホーランジア攻略における制空権確保のため。米機動部隊はマーシャルから遠路3600kmを西進して来た



58任務部隊



マッカーサーの連合軍航空隊も同時に空襲

連合艦隊は通信解析と偵察機でこの動きをいち早く掴んでいて艦隊をタバオに退避させ司令部は上陸して空襲に備えた陸攻など15機が先制攻撃に出て空母を含む3隻撃沈破を報告したが9機を失った

迎撃のため各地から航空機が集められたがトラック島と同じく商船隊などの避難は後回しにされた

艦隊中将 連合留参福



敵はまだ七五〇哩先だ 余裕がある ※1400km

だが旧来の戦艦艦隊の感覚だった連合艦隊司令部の予想よりも高速空母艦隊の来襲は早く3月30日早朝に輸送船などが脱出を始めた途端に敵機が襲い掛かろうた



工作船『明石』沈没 (以後泊地での修理が出来なくなった)

後は基地と湾内の大量の船が一方的に蹂躪されるといいうトラックと同じ光景が繰り返された

翌日以降米軍は範囲を広げヤップ島、ウルシー環礁、メレオン島などに3日に渡って空襲を行い引き揚げた

日本の損害は甚大でトラックに続きパラオも基地機能を喪失した

沈没 工作船『明石』 駆逐艦『若竹』 輸送船など42隻 8万5千ト 航空機147機



アメリカの損害は自爆した潜水艦1隻と航空機25機だった

パラオ大空襲

3月30日に行われたマッカーサーのホーランジア空襲では第4航空軍が再び地上に並べたままの130機を撃滅された



8月のウエークの続く失態であり大本営は参謀など幹部を更送した

3月31日 古賀長官はリンガ泊地の一航戦にまた航空隊の進出を命じた後パラオが空襲を受けている中司令部を率い2機の飛行艇で次の基地候補地タバオへ飛び立った

そして



古賀連合艦隊司令長官はそのまま歴史の舞台から姿を消した

※現在に至るまで何の手がかりもなし

海軍乙事件

同時にタバオへ向かった福留参謀長が乗った方の飛行艇は低気圧でワイリピン島のセブ島沖に墜落 同地の抗日ゲリラに捕らえられ作戦計画書や暗号書など機密書類が入った鞆を丸ごと奪われてしまった

日本の討伐部隊に追い詰められていたゲリラ達は『古賀將軍』と名乗る人質と交換で攻撃の停止を要求した

福留参謀長は解放され大本営へ呼ばれ調査を受けたが機密書類を奪われたことは伝えなかつた

実際は興味を示さないどころではなかった書類はマッカーサーに届けられすぐにハワイの統合情報センターへ回送された

素晴らしい! 今すぐ潜水艦でセブ島から書類を受け取ってこい

徹夜で翻訳と分析が行われた後情報参謀レイトンの具申で三ミッツから各艦隊司令官へ飛行艇でコピーが届けられた

日本の『新乙作戦』はその全貌が敵に把握される事態となった



大臣と兼務になって最初の報告が
パラオ基地の壊滅だった嶋田「軍令部
総長」は憤慨した

前線から逃走中の事故だ
戦死でなく殉職扱いにしろ！

リング泊地

あ
戻ってきた

古賀長官が戦死したため
進出命令は撤回され
一航戦航空隊は
リング泊地へ戻った

良かった
これで訓練の続きが
できるわ

翔鶴姉エ

今日訓練が終わったら
夜シンガポールまで
遊びに行かない？

え
いいけど

ここじゃ貯まってる
軍票の使い道もないし

それに新型空母が
シンガポールまで来てる
そうだから会ってみたい

シンガポール

シンガポール

初めまして
大鳳です

ちよつと
ちよつと
瑞鶴！
あんまり強そう
じゃないわね

うーん 確かに
引き締まってるけど
体格は私達と変らないし
不沈艦って程には…

ねえ大鳳

腕相撲して
みない？

なるなる

うん

引き分け！

コレちょうだい

はい

翔鶴姉は
こういう可愛い飾り
似合うと思うよ

え!?

仲いいん
ですね

いやー
ケガさせてるから
私分まで

んふー
ふふふ
……
んーふふふ

さあさあ
まだ夜は長いわよ
今日は戦争のことは忘れて
遊びましょ!

ま
たまにや
こんな日があっても
いいか……

がし

空母機動部隊は
小沢の元で運用の
改善が進められた

第一機動艦隊の旗艦は
『翔鶴』から『大鳳』へ移動

各空母ごとに分かれて
艦長の命令下にあった航空隊は
一つにまとめて艦隊司令官の直屬とし
運用の自由度とスピードを上げた

一航戦3隻まとめて
『601航空隊』

二航戦3隻まとめて
『652航空隊』

三航戦3隻まとめて
『653航空隊』

これまでの
艦戦、艦爆、艦攻は
加えて偵察専門の
艦偵(艦上偵察機
部隊を編成した



積める戦力が
減ってしまう
偵察は艦攻の
兼務でいい

優秀な偵察隊の
元では百機は
百機の戦力だが
そうでない
場合は百機が
○機になるのだ

新型艦爆の『彗星』が足らず操縦も難しく、液冷エンジンの不調も多かったため

出撃機会が減っていた艦攻パイロットを操縦し易い旧型の零戦21型に乗せて艦爆代わりに使う戦闘爆撃機が発案された

零戦が積める250kg爆弾で空母の甲板に穴を開け投下後は戦闘機として戦うという一石二鳥を狙ったものだった

機体強度から急降下爆撃は出来ないため援降下爆撃で行う事となった



急降下爆撃



緩降下爆撃

特攻隊は後に悲劇的な運用を行われるようになる

ゼロ戦に爆弾を積んでる

いよいよ死に物狂いね

4月9日 第2艦隊もリンガ泊地へ後退し小沢艦隊は燃料豊富な地に集結した



小沢はやらねずにやる『アウトレンジ戦法』に賭けていた

今となっては日本の航空戦力が確実にアメリカを上回っているのは航続距離だけと考え



敵の攻撃が届かない距離から一方的に攻撃するというものだった

この作戦の成否は敵の位置を先に把握すること攻撃隊が遠距離の敵までいかに辿り着くかに掛っていた

小沢は残り少ないベテラン搭乗員に新型機を回し偵察と攻撃隊の誘導を担当させた



連合国の進撃が2ルートだと気づいていない大本営はマッカーサーの侵攻上にあるハルマヘラ島を『第一のトラック』として強化に乗り出し

マリヤナの『松輸送』に続き前線に部隊を送る『竹輸送』作戦を行った



4月17日『竹一船団』編成され上海で二個師団を乗せて南へ向かった

輸送船は狭い船倉に馬や兵員を押し込み3千5百名に便所は5つなど奴隷船のような劣悪な環境で赤道に近づくと馬は船内の高熱で次々に死亡した

竹輸送は松輸送と違い運には恵まれず暗号を読まれ待ち伏せされた

4月26日米潜水艦『ジャック』5月6日『カーナード』の雷撃で輸送船4隻が撃沈され3200名と重火器や大量の物資が海没した

残りはハルマヘラへ到着したが予定されていた西部ニューギニアまでの輸送は中止となった

4月17日 中国では『大陸打通作戦』が開始された

日本軍を誘い込んだがコヒマに一個師団も来るの予想を超えていた。デイマフルには守備隊がない

一方インパール作戦は敵の包囲まで行ったが牛は山越え出来ず全滅し食料が尽きかけている。牟田口は司令部を前進させ督戦を続けた

ルースベルトは戦う気のない蒋介石に英印軍の支援を強く要求し5月にスティルウエル率いる中国(雲南遠征)軍が北から攻撃を始めた

4月19日 連合軍艦隊が初スマトラ空襲 5月5日米航空軍シエソノートがサイゴン初空襲を行うなどインパール作戦はビルマ方面の連合軍の全面的反撃を触発することとなった



牟田口は後退を進行する師団長を全員解任した

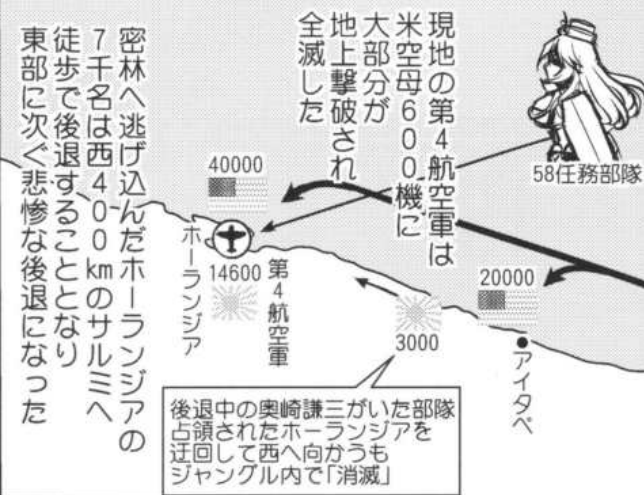


雨季の到来は皇軍に味方するものなり

5月になると雨季に入り世界最大の雨量が日本軍を襲った部隊は食料弾薬が尽きたまま密林で動きが取れなくなった

4月22日 マッカーサーは後退中の日本軍を一気に追い越してホーランジアとアイタペへ上陸した

日本軍は殆どが後方要員で米軍は1日で両地を占領し掃討戦に入った



この事態を受け古賀の臨時代理を務めていた南西方面艦隊の高須司令長官はまた一航戦の航空隊を基地へ進出させるよう命じたが

一航戦はもうすぐ訓練が完了する

どうしてもと言うなら空母機動部隊として全力出撃を命じて欲しい

小沢が反対し軍令部も同意したので撤回となった

58任務部隊は帰り際に再びトラック島に寄り2日間に渡る空襲で95機を撃破した

再建中のトラック航空隊はこれで壊滅した

ホーランジアが落ちると大本営はあつけなく西部ニューギニアの大部分を持久戦地区に切り替え

絶対国防圏のラインを大きく後退させた

そして『新2作戦』を米機動部隊を撃滅する『あ号作戦』(アメリカ作戦)と修正し決戦地をパラオと西カロリンに絞らせた

広い範囲で受け身の2作戦より積極的に決戦海域におびき寄せ叩く方針となった

44年4月1日エゼツクヌ級9隻目『バンコック(CV19)』就役

豊田副武大將が就任した

5月3日 連合艦隊司令長官に横須賀鎮守府司令長官のとよだそえむ

豊田副武大將が就任した

豊田は細かく頑固な性格で後輩の古賀の後での就任を渋り長官不在の期間を長引かせた

陸軍嫌いで有名で海軍内では人気があった

航空は専門外のため参謀長には航空参謀を歴任してきた草鹿龍之介中将がラバウルから決死の脱出を行い就任した

この長官の下で連合艦隊は壊滅することになる

一方ホーランジアの奪回を18軍の安達将軍と合意していた第2方面軍阿南大將はこの決定に激怒した

何のために何万人も送り込んで準備をしていると思ってるんだ

阿南は決定に従わずヘルピング湾の死守命令を出し大本営と方面軍が対立する事態となった

5月3日 新司令部は発足するとすべし各艦隊に『あ号作戦』の配置についてよう布告した

よし

一航戦航空隊 (二応) 訓練完了ッ

一年を半年に短縮したけどね

それで タウイタウイ泊地へ どこにあるの?

馬糞(陸軍軍人)に娘を嫁にやるくらいなら乞食にやった方がマシだ

タウイタウイ出発前のリンガ泊地には各地から部隊が集結していた

お疲れ様でした

5月1日には「雪風」「島風」「早霜」が「大和」を護衛して同地へと入った

天津風の大作で海上護衛隊の16駆逐隊は解隊され雪風は3月31日付で17駆逐隊へ編入されていたがここで初めて合流した

雪風 入りまーす

17駆逐隊は開戦以来一隻も欠けること無くメンバール固定で

最前線で闘い抜いてきた歴戦の駆逐隊だった

オヤオヤ私ら17駆逐隊に名うての幸運艦まで加わるとはな

機風

幸運は本人だけでしょ？同僚艦は身代わりになって沈んだってことだよ

谷風

谷風さん一緒に頑張ってアメリカを倒して戦争に勝ちましょうね

ああ!?

私どこでもやります

一番危険な配置にして下さい!

やれやれ! 雪風さん私たちが甘くないでください

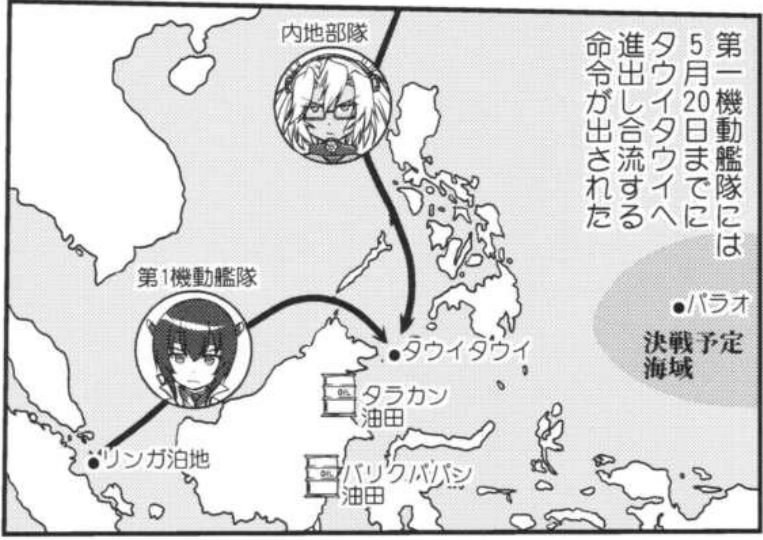
浜風

浦風

おどりや雪風 新入りは一番安全な場所で見学じゃ!

第一機動艦隊には5月20日までにタウイタウイへ進出し合流する命令が出された

パラオ 決戦海域



しかし日本の作戦計画は機密書類のせいで詳細に知られており米潜水艦もタウイタウイへと集まってきた



三航戦は3月に編成二航戦はそれより遅れて4月に編成しいずれも内地で訓練途中だったが進出命令を受けて『武蔵』らと共に日本を発ち5月17日に到着した

艦隊泊地で訓練の続きをやるしかないわね

しかしタウイタウイ泊地は陸上の施設や飛行場がまだ十分整備されてなかつた

うーん 飛行場が使えないと泊地内での訓練は無理だな

空母は外洋での訓練を始めたが5月22日三航戦の訓練中『十蔵』突然の雷撃を受けた

危ない!



駆逐隊が哨戒にあたったが十分な安全を確保できず

その後は遅れている二航戦が危険を犯して一回外で訓練を行っただけで空母部隊は休暇状態となった

今日も母艦飛行機が飛んでないデース

5月14日 バリクパバシから燃料を
 タウイタウイへ運ぶためのタンカー3隻
 を護衛していた『電』が米潜『ホトシフイツ
 シヨ』に撃沈された

司令官さん
 靖国で待つて
 るのです

『響』だけとなった
 第6駆逐隊は解隊された



5月22日
 潜水艦の先遣部隊も
 『あ』作戦』の配置に
 ついた

西カロリン
 (決戦海域)

呂106
 呂104
 呂105
 呂116
 呂109
 呂112
 呂108

伊53
 (伊44)
 損傷で掃投

分隊司令官

ギルバートでの大損害は
 司令官の指揮が不味かったという結論で
 あくまで散開線で先制邀撃するという
 戦法は変更されなかった



黒島部長が考えたもう一つの潜水艦作戦
 特四内火艇で泊地を奇襲する『竜巻作戦』は
 艦長達の大反対で中止された

キヤタビラが
 壊れました

ヒキガエルが
 叫びながらノロノロ
 近づくような奇襲が
 成功するか!



タウイタウイ
 泊地

瑞鶴
 みてみて

スゴイ
 カラフルな
 お魚



隼鷹
 吊れますカー

その場で
 捌いて
 刺し身で一杯
 サイコーですよ



マズイわね

飛行の間隔が開くと
 搭乗員の助が鈍って
 技量が落ちていく
 特に操縦覚えたばかりの
 初陣組は...



それにしても
 リンガ泊地は
 暇な時は昭南に
 遊びに行けたけど

ここはホント
 何も無いな

頑張ってるのは
 駆逐隊だけ

※昭南シンガポ



え...あッ
 ゆ雪風!
 久しぶり!

こんにちは
 瑞鶴さん



どうしました
 私の顔に何か
 付いてますか?

い...いや
 何でも無いから
 ちよつと
 離れて...



ん...?

近いってば!



調子に乗るな

すみません

雪風

翔鶴姉エの
ハシヤギっぷりは

たぶん次の決戦が
不安なんだと思う
結果はどうあれ
空母は無事じゃ
済まないだろうし

さすが
姉妹ですね

「そこで頼みが
あるんだけどさ…」

「いいですね
でも私より瑞鶴さんが
ご自分でやってあげた方が
いいと思いますよ」



あの…

翔鶴姉エ
起きてる？

まし



ぼう
注入棒を一日
お貸ししますの
ので

瑞鶴さんと
同じサイズで
いいですね

いいわよ



嬉しいが
つて
いいの
かな

私は翔鶴姉エを
手籠めにするた
め
夜這いに来たのよ

翔鶴さんみたい
な
女性的な人は
有無を言わせ
ない
押しが喜ば
れるかも
しれません



瑞鶴の方から
来てくれたの
ね

うれしい



あッ

翔鶴姉エ

私の女に
なる？

私が…
瑞鶴の…

フフツ…なる—

瑞鶴の女に
してえ



うふふ

傷モノの身体で
恥ずかしい…

手
どけて





自分の女に遠慮してない？

もー瑞鶴優しすぎー



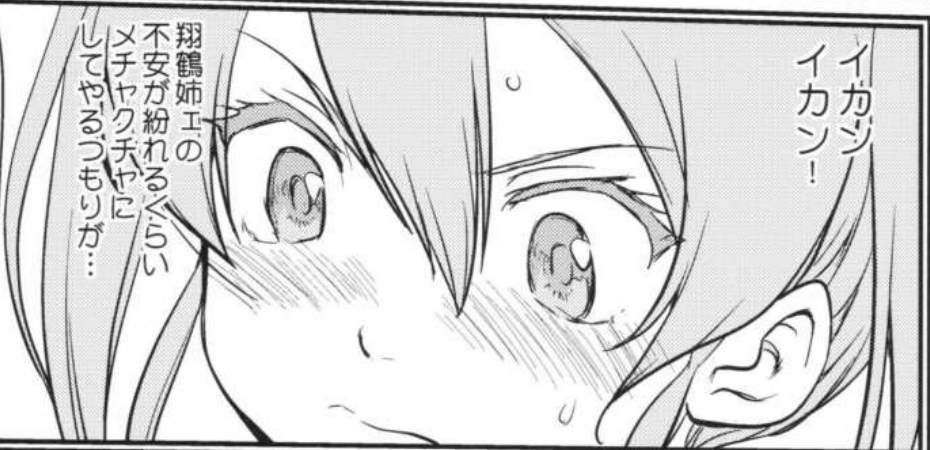
いやー… 翔鶴姉エ

とっても綺麗…



え わ私の時も…？

つい相手に遠慮しそうな時はうっ伏せにしてオシリの穴を見るといいですよ
どんな人でも滑稽で呑んで掛れるようになりますから



イカシイカン！

翔鶴姉エの不安が紛れるくらいメチャクチャやめてやるつもりが…



ぷははは コレはは 確かに…



あーん



これが翔鶴姉エの全てかあ
何もかも私に見られたね

あははは ははは

やめて瑞鶴 笑わないでえ



やあああ
瑞鶴の性格が
変わった!

実をいうと
翔鶴姉エには
小さい頃からの積もる
ウラミもあるから
もっと
イジメちやおう
かなー

準備
OKね

おー
出る出る

翔鶴姉エ
処女膜破るよー

覚悟はいい?

なくても
やるけどね

1...2の

んー!



そうそう！
自分で思いっきり
払げて！

あー

あー



また
してね



ん……

今度また
きつと

はー
はー
はー
ねえ
瑞鶴……



あいたたた

ギョウウウ

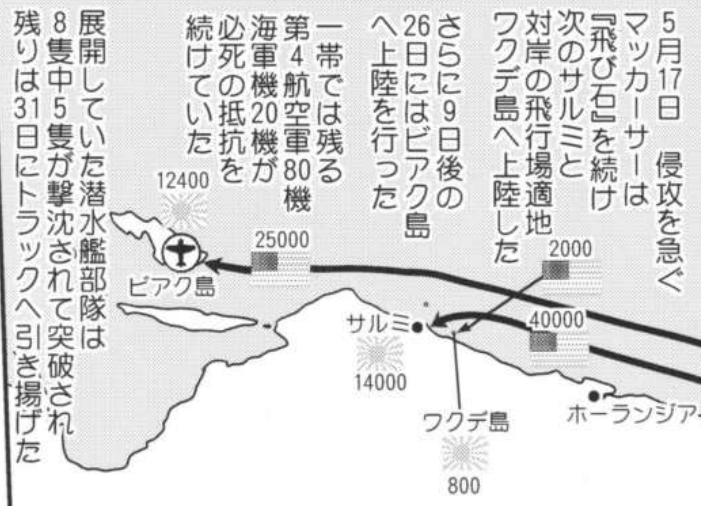
タウイタウイ海地では、その後も潜水艦の脅威で外海へ出られない状況が続いた

困ったわねえ

6月6日 バリクパパンから燃料輸送中の『水無月』も撃沈
7日 哨戒中の『早波』が撃沈
9日 哨戒中の『台風』が撃沈
これらは全て米潜『ハーダー』一隻の戦果だった
日本は確実な対潜水艦戦法がなく同じ相手にやられ続けた

たまりかねた
第1機動艦隊司令部は
第2艦隊に命じた

やられるだけだ
駆逐艦を反撃に
出さないように



展開していた潜水艦部隊は
8隻中5隻が撃沈されて突破され
残りは31日にトラックへ引き揚げた

よし!
敵は袋のネズミだ

反対意見もあったが司令部の独断で
トラックやマリアナから配備予定の
部隊も含め450機にハルマヘラ
進出命令を出した
(すぐ向かったのは150機程)

優勢な空母を
活かせるのは
中部太平洋以外ない
敵の本命はマリアナです



発足したての豊田司令部は
方針が明確に定まらず、誰となく言い出した
バタク島確保まで検討されるようになった
この方面で決戦するのなら
バタク島に飛行場を作られる
のはマズイのではないか
後方のフィリピンまで
敵機の活動範囲になる

東京の参謀本部は反対した
また海軍は勝手な変更を
絶対国防圏の後退で
合意したはずだ
海軍が決戦をするのなら
協力せねばならん
だが陸海軍一体の戦いを重視する
東條『参謀総長』は理解を示した

6月2日 急遽バタク島へ
増援部隊を逆上陸させる
『渾作戦』が発令された

『扶桑』『青葉』
『妙高』『羽黒』など
有力な護衛を付けて
まだ姿を見せない
米機動部隊をおびき寄せる
『あ号作戦』の役割も兼ねていた



この米第7艦隊を偵察機が空母部隊と
誤報したため豊田長官は突入を中止させた
空母が
出てきた!
退避するぞ
私達の役割は
果たしましたね

駆逐隊は
輸送船を放って
いけないのよね
青葉さん扶桑さん
逃げるの早ッ!
戦闘は起こらず
青葉と駆逐隊は
その後上陸部隊と共に
ソロンへ行き待機した

第一次渾作戦



5日後の6月8日 ソロンで待機していた逆上陸部隊は駆逐隊6隻の鼠輸送でビアク島へと向かった

久しぶりだなこの感じ



12時30分 昼には空襲を受け『春雨』が撃沈されたが駆逐隊は進撃を続けた

22時頃 駆逐隊は島の上陸地点へ突入した

しかし揚陸前に

重巡 1
軽巡 2
駆逐艦 14

第2水雷戦隊

第7艦隊

『春雨』沈没

という強力な米第7艦隊と遭遇し夜戦が始まってしまった



歴戦の5隻は個々に応戦し双方軽傷を受けた後、追撃を振り切り退避した

敵は重巡の電探射撃で数も多いし

駆逐艦だけじゃムリです

第二次渾作戦

その間ビアク島守備隊は地形も味方して『ユーギニア戦で最も激しい抵抗』を続けていた
上陸から14日後の6月8日 ようやく飛行場が陥落した後も使用妨害の攻撃を続け、ためマッカーサーは怒り師団長を更迭した

モクメル飛行場

6月10日 渾作戦は再び大部隊の護衛で陽動を兼ねるためタウイタウイから『武蔵』『大和』が合流することになった

私らを見たらさすがに機動部隊も出てくるんじゃないか



その頃 アメリカの機動部隊はどこにいたのか？

マーシャル諸島
メジユロ環礁

諸君

スーパードフォートレス『B29』部隊が完成した
マリアナを落とせば日本本土を直接爆撃し日本の戦争継続能力を失わせることが出来る

ここからは明確に戦争を終わらせるための戦いだ
一層の健闘を願う

出撃前に開戦以来戦い抜いてきた『ビッグE』エンタープライズから諸君に一言挨拶がある



1w

ジャップの艦娘共が出て来たらケツを引っぱりたいやりますよ



1w



だがこの時ラバウルからもアドミラルティ諸島に輸送船80を含む機動部隊発見の報(誤報)が入り

軍令部はまだ決戦地の変更を決めかねていた

マリアナは空襲だけの陽動かも知れない



6月13日 第1機動艦隊は補給を兼ねてマリアナとパラオ・西カロリンどちらへも対処しやすいように北寄りのギマラスへ移動した



6月15日 米軍のサイパン島上陸が始まり

サイパン島 (民間人) 日本人20000 現地民3000



遂に米軍の侵攻がマリアナ方面と確定した



『あ号作戦』開始

これを巻くのも真珠湾以来ね



せん



皆さん いよいよ決戦です

私達はマリアナに現れたアメリカの機動部隊を撃滅に向かいます

小沢長官からの訓示です

『今次の戦いは一部の犠牲が出ようと戦闘を強行する』

『必要とあらば死地への突入命令も出す』

『もしこの戦いで目的を達することが出来なければ後に水上艦艇が残っても存在意義がないからである』

勝ちましょう！

勝つて！戦争を終わらせましょう！！

旗艦大鳳さん お願いします

はい

皇国の興廃 この一戦にアリ

各員奮闘努力せよ



おうッ



よーし貴様ら
いよいよだな
出陣前に気合を
入れてやる

一人3発だ
1列に並べ!



甲板士官!
...殿!



いたたた

こんな事
しなくても
十分気合入って
るっての

決戦前に
ケガしたら
どうするのよ



第6艦隊も動員可能な潜水艦12隻
全てを今度はマリアナへ向かわせた

戦法は
散開線を張つての待ち伏せと
警戒の厳重な前線の島を周回しつつ
邀撃するという同じやり方だった



こっちも
甘くはないぞ

すでに激戦中に加えて
衛生環境の劣悪なジャングル
の飛行場で
搭乗員はたちまちマラリアや
デング熱などに
感染し戦力は大きく減少して
いた

第1航空艦隊はビアクへ進出した航空隊に
マリアナ攻撃のためヤツラ島へ集まるよう
命じたが



参謀本部はサイパン地上戦に強気だった
1 kmに砲3.3門で十分だが
5門配備してある
サイパンは難攻不落だ

堅固なる正面に
猪突し来るは
敵の過失なり

だが参謀達の常識を超える爆撃と4万発の
艦砲射撃で上陸前に陣地は粉碎された
参謀本部はこの時初めてニミッツの機動
部隊の圧倒的な攻撃力を知った

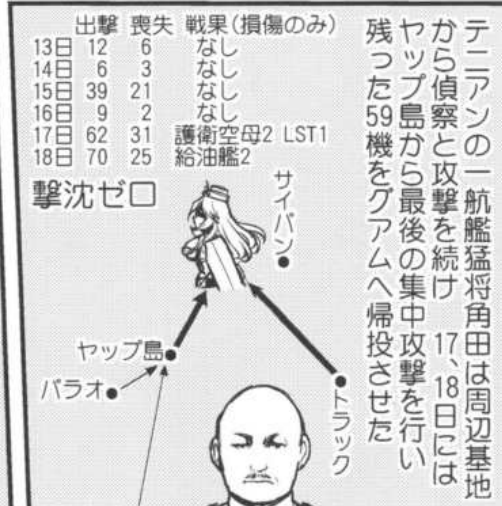
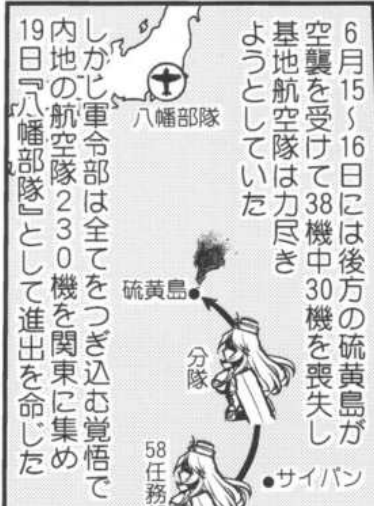
東條参謀総長

服部作戦課長

17日には天皇からも激励が行われた
『この度の作戦は国家の興隆に
関する重大なるものなれば
日本海海戦の如き立派なる
戦果を揚ぐるよう
作戦部隊の奮励を望む』



今や最後の望みとなった430機を擁する
第1機動艦隊は決戦予定を19日として
硫黄島を空襲した部隊を警戒しながら
慎重に東進を続けていた



出撃	喪失	戦果(損傷のみ)
13日	12	6
14日	6	3
15日	39	21
16日	9	2
17日	62	31
18日	70	25

撃沈ゼロ

テニアンの一航艦猛将角田は周辺基地
から偵察と攻撃を続け 17,18日には
ヤップ島から最後の集中攻撃を行い
残った59機をグアムへ帰投させた

6月18日

第1機動艦隊は前衛の第2艦隊に三航戦を合流させる隊形で進んでいた

↑
前衛部隊



第2艦隊

三航戦

かいり
100哩
(185km)

乙部隊 甲部隊



二航戦

一航戦

しかし作戦計画をすでに知っている米潜水艦も接触したり見失ったりを繰り返しながら日本の進出海域へ進んでいた



夜明けと共に前衛の三航戦から偵察機16機が発進

米軍も同じく夜明けと共に護衛のF6Fを含む偵察隊42機を発進させた



11時に『翔鶴』から第二段索敵8機

30分後『大鳳』『瑞鶴』から第三段索敵5機が飛び立った



索敵機同士の出会い頭の空戦が続き5機を失うも14時14分日本が先に敵艦隊を発見した

15番索敵線『子ノ四エ』空母機動部隊発見!



やりました行ッけえー! 全機発艦!



前衛の『千歳』はすでに全機を発艦させた

出撃待て

第1機動艦隊 小沢提督

硫黄島を爆撃した敵をまだ確認していない

それに今から発進すると戻る時は暗くなるが夜間着艦の練度には達していないはずだ



攻撃命令は出ないのか? 飛龍さんがいたら怒るだろうなあ



敵を見つけから考える奴があるか!



結局この日の出撃は行われず時間が過ぎて行った



17時17分夕方になり小沢は硫黄島方面に敵空母はいないと判断し予定通り明日の決戦を決意した

24時 米軍は昼の偵察失敗からリーダー搭載夜間偵察機で300哩まで索敵範囲を広げたが



日本は350哩アウトレンジしていたため発見されなかった

6月19日(決戦の日)

3時45分 夜明けより早く戦艦・巡洋艦の水偵16機が出撃

行くデース



30分後 三航戦から14機、一航戦から13機が出撃



合計43機による徹底した三段偵察だった

頼む 先に見つけてくれ!



小沢艦隊を発見できない米軍は、一航艦が降りたグラムを朝から断続的に空襲



一航艦は最後の戦力で迎撃を続けた

6時30分 『能代』『熊野』の偵察機が機動部隊を発見した

7番索敵線『チソ四テ』空母機動部隊発見!

7時25分 三航戦の第二次攻撃隊64機が発進した

今度は躊躇するな! 攻撃隊全力発進!

7時45分 一航戦も第一次攻撃隊『零戦52型』『彗星』『天山』130機を発進させる

行けえーッ

これが現時点の日本が持つ最強の部隊だった



8時10分 雷跡を見つけた艦載機の1機が身を挺して6本中1本に体当たりしたものの

『大鳳』に魚雷1本が命中



発射したのは『大潮』『天龍』を撃沈した因縁の米潜『アルバコア』

この後の駆逐艦の追撃からも再び逃げのびた



大鳳被害は!?

大丈夫です ただ少しリフトの修理が必要です

さすが 装甲空母 ですね

固唾を呑んでいた 東京の軍司令部では攻撃隊発進の報に喜びが湧き上がった

よし! 攻撃を受ける前に 全機発艦したぞ

ミッドウエーの 二の舞いは回避した

これで 勝ったわい



8時50分 一航戦の攻撃隊は
予定針路がズれて前衛部隊の
上空を通過しようとした時
『瑞鳳』のレーダーに捕らえられた

敵機発見

警告に反応
ナシじゃ!

撃て!

ワレ前衛ノ
射撃ヲ受ク

やめろオ
何やつてん
だ!!

射撃はすぐに止んだものの
3機以上が撃墜され隊長機を失った
天山6機が本隊から逸れてしまった

同じ頃 一航戦の偵察機が
立て続けに敵空母部隊発見の
報告を行った



これらはいずれも偵察員の
座標ミスなどによる誤報だったが
司令部は別の部隊と判断し
攻撃を決意した

9時15分
二航戦の第一次攻撃隊49機が
この『3リ』の敵へ

待って
ました!

1時間後の10時15分
第二次攻撃隊50機と15分後に15機
合計65機が『15リ』の敵へと向かった
(99艦爆と彗星で攻撃を合わせるため)

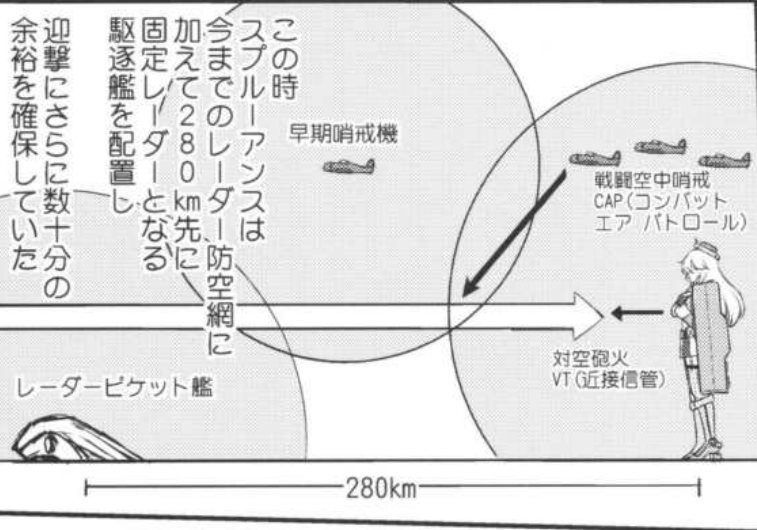
一方
米軍の方は

アドミラル 日本艦隊が
見つかりません
西進して索敵範囲を
広げさせて下さい

このままだと
先制攻撃を受けます

58任務部隊旗艦
『レキシントン』

サイパンの制空権
確保が最優先だ
先制攻撃は受けても
奇襲になることはない



9時35分
片道3時間を掛けて
三航戦の第一次攻撃隊64機が
辿り着いたときには

これは夢か
……

250機のF6Fが
2千メートル上空の
ベストポジションで待ち受け
攻撃を開始した

結果は一方的なものとなった

攻撃隊は41機が撃ち落とされ
わずかに3機程が前衛の戦艦部隊に到達して
戦艦『サウスダコタ』爆弾1発
重巡『ミネアポリス』至近弾1発
を与えたにとどまった

ジャップは
気付いて
ないのか?

襲われても
直進してやがる

米側の損失はF6F2機のみで
10時に『完全に撃退した』と報告した

10時28分 一航戦から第二次攻撃隊が『15』を攻撃へ向かったが

大鳳のリフトが直つておらず35機以上の予定が18機と半減していた



そして運命の戦闘が始まった

10時40分 一航戦の第一次攻撃隊が米艦隊を発見し攻撃態勢に入った時

400機を超えるF6Fの迎撃隊の内100機以上が襲い掛かつてきた

全軍突撃体勢作し

艦爆隊隊長機はこの通信を最後に連絡が途絶えた



後方に敵機！機をスベらせろ！



艦爆隊より高度が低かつた『天山』部隊は突入を開始した

ワレ突撃ス 全軍突撃セヨ

艦攻隊長機もこの通信が最後となつた



F6Fの激しい迎撃の中『彗星』部隊も続いた

全軍突撃せよ



違う！戦艦だ 空母がいません



なにッ

クソッ 護衛艦隊だ

隊長ッ 前方に別の艦隊が！



空母です！

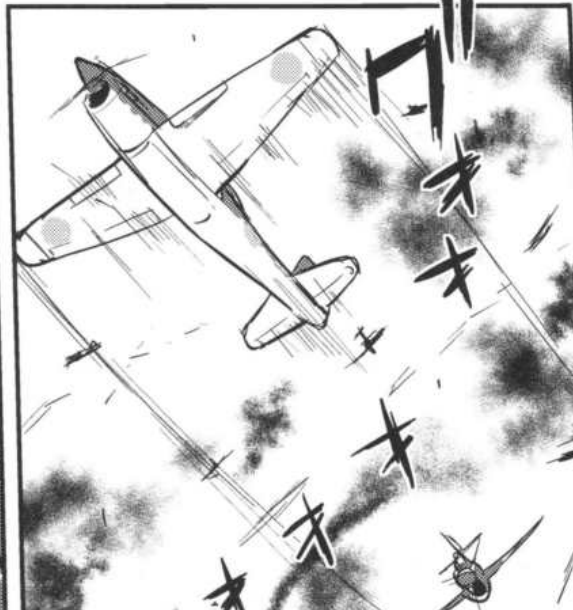
前方15海里 空母部隊発見ッ



引き起こせーッ！！



後続は!?



振り返った
艦爆隊員の目には
飛び込んできたのは

生涯忘れる
ことができない
一大海戦パノラマ
だった



F6Fの迎撃と前衛部隊の
猛烈な弾幕をくぐり抜け

彗星7機、天山3機が
ついに空母機動部隊までたどり着き
突入を行った



ファイア!!
ファイアーツ!



機動部隊のVT信管を含む
対空砲火はさらに密度を増し
前が全く見えなくなる程だわたという

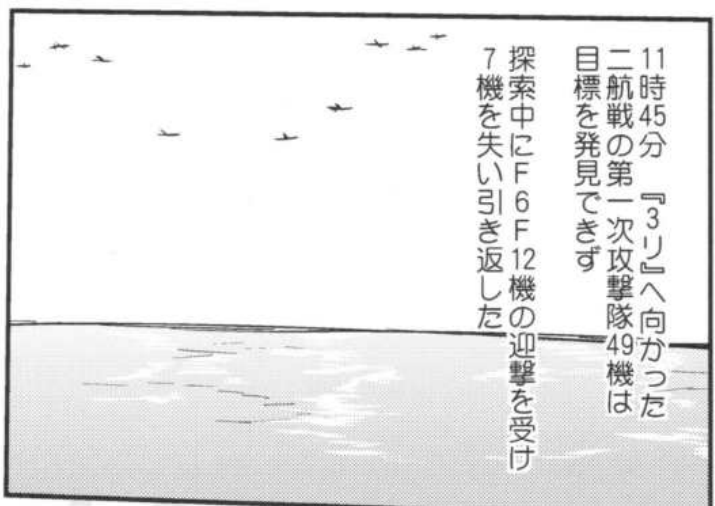
結果は「ハンカチ・ヒル」に至近弾1
「フスフ」に破片による軽微な損傷
これがこの日の
空母に対する唯一の戦果となった

一航戦の第一次攻撃隊は
89機が未帰還で事実上壊滅した
F6Fの損失はわずか5機だった



11時45分 「3リ」へ向かった
二航戦の第一次攻撃隊49機は
目標を発見できず

探索中にF6F12機の迎撃を受け
7機を失い引き返した



第1機動艦隊司令部は
静まり返っていた

何の
連絡もない

攻撃はしたのか
してないのか?

もう
とうに目標へ
到着してる時間だ



あッ



11時20分・今度は米潜『キヤバラ』が『翔鶴』へ魚雷6本を発射し、4本が立て続けに命中した



翔鶴さん

あなたこそが
一航戦
なのです



大鳳
作戦中だ！
隊形を崩すな



救助は駆逐艦に
任せておけ



りよ…
了解



瑞鶴…



立派に
なったわね…



それどころ
私の自慢の妹



誇らしいわ...

翔鶴は致命傷を受けており
3時間火災が続いた後

14時10分に沈没した



それなら...



戻って
きませんね

緊急用の
グナムやヤップに
向かったのかも

空母部隊へは三航戦20機、一航戦4機
など第一次攻撃隊が少しづつ
帰ってきた



13時45分 二航戦第二次攻撃隊の
彗星隊15機は先発隊と合流できず
『15リ』に敵もいなかったため帰ろう
とした所へ偶然機動部隊と遭遇

突入して空母付近に爆弾を
投下したが損害は与えられず
9機を撃墜され帰投した



こんな
機数じゃ
不可能です

15時45分 三航戦は
戻った一次攻撃隊を再編して
二次攻撃を行う予定だったが
あまりの少なさに中止した



だが着陸態勢に入った所を
グナム攻撃のF6F41機に襲われ
26機撃墜という大損害を受けた
F6Fの損害は2機のみだった

15時 三航戦第二次攻撃隊の
先発隊50機の方も敵はせず
こちらはグナム島へと帰投した

14時32分 『大鳳』大爆発
気密度の高い重装甲が災いし
被雷で漏れた航空燃料が気化して
充満した所へ発火したため
と言われている

2時間後の16時28分 大鳳も沈没した



一航戦の第二次攻撃隊18機は
会敵せず戻っていたところ

複数の米偵察機と遭遇して空戦となり
何と8機を撃墜されて
15時15分までに各々帰投した

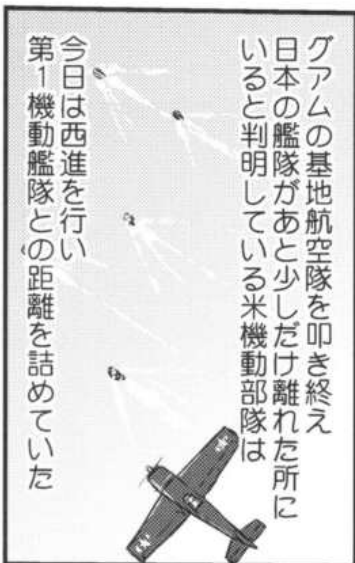
これで19日の
日本の攻撃は全て
終了した

マリアナの七面鳥撃ち

Great Marianas Turkey Shoot

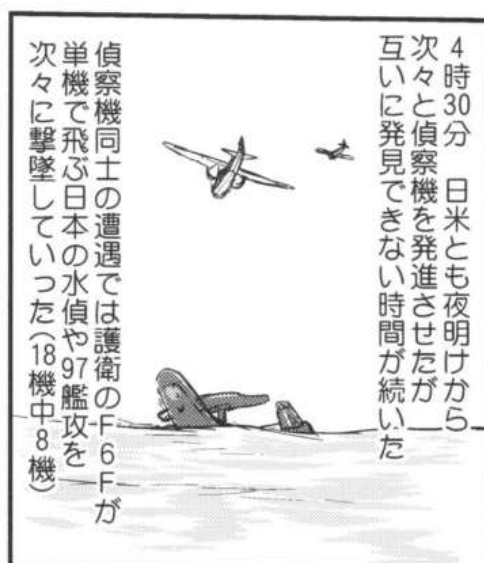
19日の日本の損失219機(偵察20+攻撃191+直衛8)に対しアメリカは12機(F6F)航空隊の一日の損失としては開戦以来最大のものだった

この日第1機動艦隊は敵に発見されることなくアウトレンジから一方的に攻撃を行った
不安視された遠距離攻撃も誘導機に導かれ327機中209機は敵艦隊まで辿り着いた
だが肝心の戦闘で、もはや日本の航空隊は米航空隊に全く歯が立たなくなっていた



今日は西進を行い
第1機動艦隊との距離を詰めていた

グアムの基地航空隊を叩き終え
日本の艦隊があと少しだけ離れた所に
いると判明している米機動部隊は



4時30分 日米とも夜明けから
次々と偵察機を発進させたが一
互いに発見できない時間が続いた

偵察機同士の遭遇では護衛のF6Fが
単機で飛ぶ日本の水偵や97艦攻を一
次々に撃墜していった(18機中8機)

6月20日



17時10分 小沢は艦隊を北上させた

敵潜のいる
海域から
退避します

帰還機のアマリの少なさから
残機はグアムに降りたと判断し
明日の戦闘のために
後方の補給部隊に合流を命じた

『大鳳』沈没で
臨時の旗艦『羽黒』



15時40分 米重偵察機は
ついに小沢艦隊を発見した

かまわん
行け!

距離は米艦載機の限界近い510km
帰りは日没の暗闇になる時間だった
が
スプルーアンスは出撃を命じた



13時20分 硫黄島とパラオの基地偵察機
からすぐ近くで機動部隊発見の
報が届いた(味方を誤認)

あれ?
まだ給油終わって
ないのに

小沢は前線で行っていた給油を中止し
補給部隊をそのままにして急いで西へ
退避を開始した

補給部隊護衛



12時 旗艦が『羽黒』から
『瑞鶴』へ移動して
小沢はようやく航空隊の
実状を知った

瑞鶴さん
将旗です

小沢は軍令部に
一旦後退して部隊を再編した後
翌々日22日に残100機全てを
注ぎ込んで再攻撃する旨を伝えた

オイオイ
いつもの紳士
とは思えない
命令だな!

やる時や
やるってか

機動部隊から
216機が攻撃へ飛び立った

日本は『摩耶』『若月』『初月』などが
リーダーでいち早く
この攻撃隊を捉えたが

米軍のように情報を集めて
統一指揮する部署はなく
各艦が備えたにとどまった

16時15分 日本も米機動部隊を発見した

空母部隊は残る零戦41機を上空直衛機
として発艦させると共に

クソッ

17時25分 『瑞鶴』から7機の天山が
米空母へ最後の反撃に向かったが
この部隊も戦果なく全滅した

その後 17時30分
米軍機が小沢艦隊に襲いかかった

『飛鷹』が魚雷2本を受け
大火災となり2時間後に沈没

空母『瑞鶴』『隼鷹』『龍鳳』『千代田』
戦艦『榛名』重巡『摩耶』が次々と
直撃弾や至近弾を受けて損傷した
米軍は直掩機の迎撃と
対空砲火で20機が撃墜された

瑞鶴はん

大丈夫!

大丈夫よ

逃げ遅れた補給部隊では
タンカー『玄洋丸』『青洋丸』が
火災と浸水で航行不能となり
後に駆逐艦に雷撃処分された

『速水』も損傷

幸運艦『雪風』は
この時も無傷だった

米航空隊は30分程の攻撃を終えると
引き返した

接触機で追え!
空母の仇を取るぞ

第2艦隊は
米機動部隊に
突入します

夜戦用意

能代さん
こんなの
成功するわけない

もう
ヤケクソね

米攻撃隊は暗くなつてから機動部隊に辿り着いたが69機が燃料切れで不時着水夜間着艦ミスなど事故で19機合計81機喪失という日本との戦いより遥かに多くの損害を出したしかし海に落ちた搭乗員の多くは救出された

皮肉にも相手を実際に攻撃した機数は目米ほぼ同数だった

東京では報告を受けた軍令部があまりもの惨敗の結果に呆然となつていた



武蔵 待ちなさい

このまま突入しても犬死にするだけです

てめえ

言葉は不適切でした取り消します

しかし成功の見込のない戦いは山本提督は決して許されませんでした

運良く敵艦隊にたどり着いてもそこから高速空母が逃げたらどうやって追いつくんですか

実際はその遥か手前で航空機に襲われるだけでしょう

6月21日

8時05分 スプルーアンスは深追いせず追撃を中止してマリアナ攻略の援護へと戻った

第1機動艦隊は航空隊が壊滅した空母部隊が一旦沖縄の金城湾へ寄つた後23日に瀬戸内海へ



いつまでも立ち上がる事ができなかった

嶋田軍令部総長は黙って椅子に座つたまま

今犬死にと言つたのか

夜戦の見込みがなければ西方に退避せよ

21時05分 時間が経ち冷静になった栗田艦隊は反転した

19時40分 豊田連合艦隊司令長官から第1機動艦隊に離脱命令が出され小沢から第2艦隊栗田長官にも伝えられた

参謀本部が難攻不落と謳ったサイパンは艦砲射撃と上陸軍への夜襲で上陸2日目で戦力の殆どを失った



日本は第9師団の逆上陸などサイパン奪回『Y作戦』を計画したが連合艦隊がマリアナ沖海戦で敗れたため実行不可能と判断し中止された

海軍の中部太平洋艦隊や第14航空艦隊は戦力を全て『航艦』小沢艦隊に回したため司令部と基地要員だけの存在であり陸軍と共に地上戦を行い玉砕した

陸軍も31軍小畑司令官はパラオにいてサイパンに戻れなくなりグアムからトラック島へと移動した

疎開が間に合わなかった民間人には『生きて虜囚の辱めを受けず』という軍隊の戦陣訓が適用された

特に救護や弾薬運搬に活躍していた女性達は重と共い島の北端に追い詰められ1500人程が集団自殺を行った。全体では半数の8千、1万人程が死亡した『太平洋の防波堤』は3週間で陥落した

『あ号作戦』ではもう一つ

決定的な局面を迎えた戦いがあった



こんな戦いをいくら続けてもムダだ

太平洋の潜水艦作戦は全て中止しろ！
全艦を今すぐ内地へ呼び戻せ！

7月27日 太平洋の潜水艦全てに帰還して被害防止対策を講じるまで作戦を中止する命令が出された

『あ号作戦』配置命令より投入された潜水艦36隻 喪失20隻

- 初期散開線
- 『伊176』
- 『伊16』
- 『呂104』
- 『呂105』
- 『呂106』
- 『呂108』
- 『呂116』
- 散開線
- マリアナ
- 『伊184』
- 『伊185』
- 『呂36』
- 『呂42』
- 『呂44』
- 『呂111』
- 『呂114』
- 『呂117』
- その後のマリアナ救援
- 『伊5』
- 『伊6』
- 『伊10』
- 『伊55』
- 『呂48』



戦果ゼロ！

決戦は終わった

海軍が望みを託した
決戦兵力

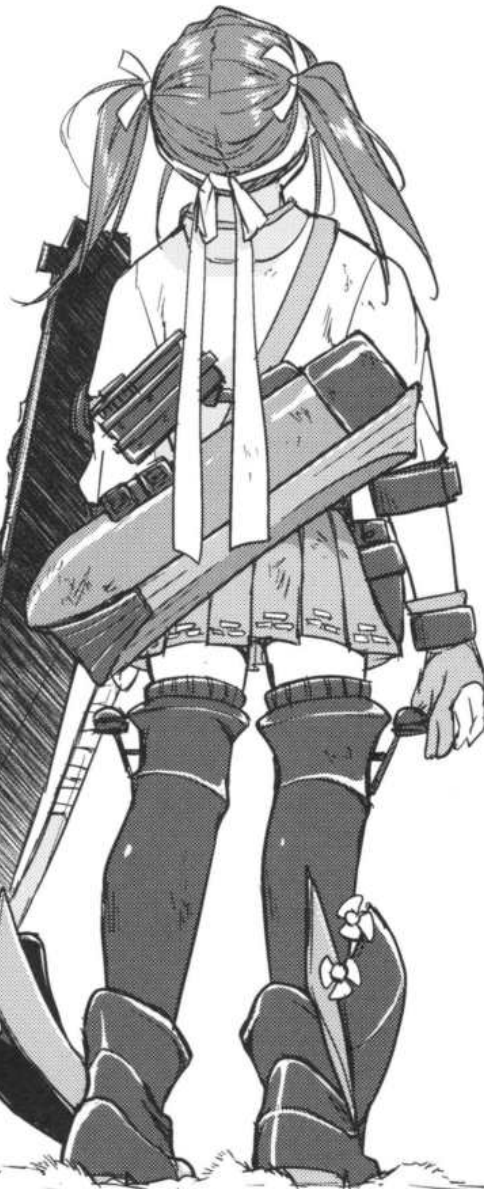
空母機動部隊
基地航空隊
潜水艦は
個別に撃破され
壊滅した

さらに決定的な
ことは航空兵力の
数を揃えても

すでに質で対抗できなくなっ
ていることが明らかに
なっていたことである

もはや
いかなる手段を持つても
米機動部隊の日本侵攻を
止めることはできない

太平洋戦争は
負けたのである



だが

陸軍は来年の戦いに向け
中国で連勝を重ねて

『大陸打通作戦』



対米戦略の
根幹をなす『決戦』は

敗れた時は
直ちに講和に向け
舵を切るといふ

天皇、政府、軍部による
国家の総意のもとに
行うべきものだった



しかし海軍は
自分達だけで
勝手に決戦を行い

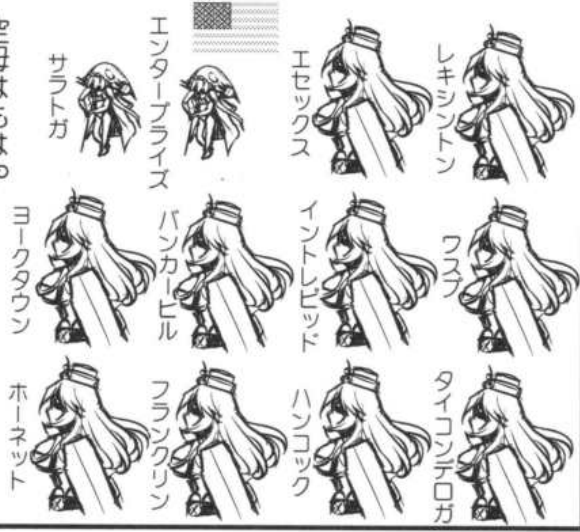
勝手に日本の戦略を
破綻させてしまった



戦力差の拡大は留まる所を知らず



44年5月1就役
エセックス級10隻目
『タイコンデロガ(CV14)』



空母はもはや
バカバカしい
までの差が
付いてしまった

VS

日米
正規空母比



戦略的合理性を
失つても戦いを
続ける日本は
この後
狂気の戦争へと
突き進んで
いくことになる

どうも蛸壺屋です。

艦これ本6冊目です。
海戦が減るから今回のマリアナまでの6ヶ月分はページに余裕が出るかと思ってましたがむしろ足りなくなっていつもより4P増やして何とか収めました。
土壇場で4P増やしたので締切には結構追われました。現在最終日の徹夜中です。

しかし44年になると空戦のワンサイドぶりが酷いですね。描いててもっと頑張れとか思ってしまいます。烈風がヘルキャットに合わせて出てきていれば、もう少し何とかなったんでしょうかね。

概要だけ知ってたマリアナ沖海戦ですが今回いろいろと勉強になりました。
NHKスペシャルなどで印象が先行していると実際の数がそれ程でもなかったり興味深かったです。
陸戦ももっと細かく描きたい戦いもあります。戦争全体とのバランスを崩さない感じで描写していきたいと思います。

残るは後1年分ほどになりました。このシリーズも一年以内に完結できればいいですが。あと少しだけお付き合いいただければ幸いです。

作画や情報の間違い修正専用ページを作りました。

『テートクの決断フォローページ』

<http://takotuboya.jp/teitoku/syuusei.html>

ではまた次回お会いしましょう。

誌名 テートクの決断 あ号作戦への道

発行者 蛸壺屋

発行日 2017年12月31日

印刷所 大陽出版

ご意見ご感想は下記アドレスまで

URL : <http://takotuboya.jp>

E-Mail : tk@takotuboya.jp

テートクの決断

あ号作戦への道



登場艦娘

- 金剛 大和 武蔵 長門
- 扶桑 瑞鶴 翔鶴 大鳳
- 瑞鳳 龍鳳 千歳 千代田
- 隼鷹 飛鷹 大鷹 羽黒
- 高雄 愛宕 摩耶 鈴谷
- 利根 筑摩 青葉 龍田
- 夕張 那珂 明石 阿賀野
- 能代 香取 浦波 敷波
- 白露 電 雷 春雨
- 時雨 浦風 磯風 五月雨
- 谷風 浜風 野分 不知火
- 藤波 占守 雪風 天津風
- 島風 伊8 伊26

Adult Only
TAKOTUBOYA

- テートクの決断 昭和16年の敗戦 (1941. 7. 28~1941. 12. 8)
- テートクの決断 MIDWAY (1941. 12. 8~1942. 6. 7)
- テートクの決断 鉄底海峡 (1942. 6. 8~1943. 2. 7)
- テートクの決断 ラバウル1943 (1943. 2. 8~1943. 8. 25)
- テートクの決断 絶対国防圏 (1943. 8. 26~1943. 12. 14)